

一般社団法人
建設コンサルタンツ協会 東北支部

JCCA TOHOKU

明日への風、
東北から



vol. **56**
支部だより 2017.10

目 次

Vol.56

- 巻頭言「新任挨拶」
……一般社団法人建設コンサルタンツ協会 東北支部 支部長 菅原 稔郎 1
- 特集
「被災地は今（岩手県大船渡市）」
……………(株)菊池技研コンサルタント 菊池 透 3
- 海外紀行
「ベトナムのイマドキ」
……………三井共同建設コンサルタント(株) ハノイ事務所 出村 修 5
- 技術シリーズ
「復興と地域活性化を目指したかわまちづくり事業」
……………(株)東京建設コンサルタント 岡井 春樹 9
- 女性技術者が思う建設コンサルタント
「魅力ある建設コンサルタントを目指して」
……………(株)東コンサルタント 柴田 愛美 11
- 若手の会の紹介
「業界展望を考える若手技術者の会 東北支部交流会」
……東北支部総務部会 若手の会委員長 (株)復建技術コンサルタント 山本 佳和 13
- 技術士合格体験記
「技術士合格体験記」
……………(株)復建技術コンサルタント 佐渡谷 嵩朗 15
- 私の趣味
「大人になってからの部活動」
……………(株)ダイエツ 樋口 章大 16
- 新規会員の紹介
「私たちは地球の未来環境を見つめています」
……………キタイ設計(株) 村里 勲 18
「未来を測る、未来を創る企業を目指して」
……………(株)ふたば 遠藤 秀文 19
- 支部活動報告
平成29年度支部定時総会…………… 20
平成29年度「建設コンサルタントの要望と提案」意見交換会…………… 21
9月1日「災害時対応演習」を実施…………… 22
- 特集
「EE東北'17」…………… 23
「平成29年度 東北支部会員 東北地方整備局優良業務表彰について」…………… 26
- 支部だより…………… 32
- 会員の動向…………… 38
- 講演会のお知らせ…………… 39
- 東北支部 会員名簿…………… 40
- 編集後記…………… 対外活動部会 広報委員会 八千代エンジニアリング(株) 武田 浩幸 42



新任挨拶

一般社団法人建設コンサルタンツ協会 東北支部 支部長 菅原稔郎

平成 29 年 4 月 21 日開催の東北支部定例総会におきまして、遠藤前支部長の後任として、支部長を拝命いたしました菅原稔郎でございます。

東日本大震災では発生直後から陣頭指揮を取られるなど、8 年間に亘り強力なリーダーシップを発揮して来られた前支部長のあとを任されることに、正直かなりのプレッシャーを感じております。今もなお不安は尽きませんが、先輩役員の皆様のご支援・ご協力を得ながら精一杯努めていく所存ですので、どうぞ宜しくお願いいたします。

東日本大震災から 6 年半が経過します。この間、公共交通網等の基盤インフラの復旧、地域産業の復興は一步一步着実に進んできました。

一方、震災による避難者は被災三県で現在も 9 万人を超えているほか、風評被害もいまだに続いていることから、東北が真の復興を成し遂げるまでの道のりはまだ長く険しい状況です。

加えて、東北地方の人口減少は一層進んでおり、東京圏への人口集中が顕著になっています。本年 7 月に総務省が発表した人口動態調査では、都道府県で人口減少率のワースト 1 位は秋田県、2 位は青森県で、宮城県を除く 5 県がワースト 10 に名を連ねます。

先ごろ、東北大学インフラマネジメント研究センターの久田真教授が「1 橋を支える人口は、島根県と神奈川県で約 30 倍の格差がある」という研究内容を明らかにしました。

これは島根県など過疎化が進む地域では、1 人当りの橋梁の管理負担が増加していることを意味しています。

研究データでは、1 橋を支える人口が多い都道府県は 1 位神奈川県、2 位東京都、3 位大阪府など人口密度が高い大都市圏が上位を占めます。逆に 1 橋を支える人口が少ない都道府県は島根県や鳥取県といった山陰地方に続き、秋田県、岩手県といった東北地方が下位を占めておりました。ちなみに島根県の 1 橋を支える人口は 195 人、一方の神奈川県は 5582 人だそうです。

人口減に伴い、産業を支えるインフラ整備や老朽化対策が疎かになると、益々若者は地方に住まなくなり、

負のスパイラルから抜け出せなくなります。

日本全体の活力向上を図るべく地方創生が叫ばれる中で、地方に仕事をつくり、安心して働くことができるようにし、地方への新しいひとの流れをつくる取り組みは、まさしく国を挙げて取り組むべき最重要課題であると思います。

このような状況を踏まえ、建設コンサルタンツ協会東北支部では、時代の要請に必要なインフラを積極的に提案しその実現をめざしていくことを平成 29 年度事業計画の一つとして採択しました。テーマは「(仮称)東北ブロック 復興から創生そして近未来への提言」です。現在、総務部会と、新たに設置したワーキンググループ、そして若手の会の皆さんに活動頂いており、来年 3.11 頃の発行を目指しております。

大型放射光施設や超大型加速器の国際リニアコライターの誘致、原発廃炉研究拠点等の実現により、人口減を克服する東北経済の発展に期待を抱くと共に、日本のデフレ解消に繋がる観点からも、産学官が長期的な視点で連携することが必要であります。

公共事業費をさらに増加させ、東北を守り、限りなく成長させるために、建設コンサルタントが、そして当支部がその役割を果たして行くものと考えております。

また、東北地方は地震災害だけでなく、平成 27 年(2015 年) 9 月に「関東・東北豪雨」、平成 28 年(2016 年) 8 月には岩手県を襲った台風 10 号、そして本年は秋田県において大雨による雄物川の氾濫など、毎年のように激甚災害に見舞われております。

当支部では東北地方整備局や各県と締結する災害協定に基づき、支援要請があれば迅速に対応し、これらの災害復旧に尽力して参りました。

東北 6 県の中で、唯一岩手県とは最近まで未締結でしたが、本年 9 月 13 日付で協定書を締結いたしました。これにより、東北全県の地域防災を担う支援体制が確立されました。

我々建設コンサルタントは、防災・減災を柱とした国土強靱化と社会資本の維持管理・更新等の推進に向

けて、これまでに培ってきたノウハウを駆使し、行政・発注者の皆様と一体となり、役割を果たしていくことが使命と考えております。

しかし、このような役割を果たす上で重要になってくるのが「担い手の確保」です。

協会全体として、技術者の高齢化と合わせ、新卒採用の減少や若手技術者の退職により、技術を引き継ぐべき人材の不足により、技術の伝承ができないことが懸念されます。

若手に敬遠される最大の原因が長時間労働であり、今年は会員各社とも「働き方改革」として何らかの取り組みをされているものと推察いたします。

協会でも、数年前から会員一斉ノー残業デーの実施や所定外労働時間実態調査や就業環境改善のアンケート調査を行い、意見交換会資料に反映させてきました。長時間労働の解決のためには自社努力がまず先です

が、受発注者協働でないと前に進まないものもあります。

とりわけ3月に集中している納期の平準化と適正な工期の設定、ノー残業デーを含むウイークリー・スタンスの実施と改善などは、この9月から始まる意見交換会等を通じて、発注者に強く協力をお願いしていきたいと考えております。

建設産業の担い手が国土に均衡に配置され、かつ地域の企業も健全な経営が可能なように、継続的な建設投資の必要性と、適正な競争が可能な入札契約方式による選定の必要性についても併せて要望していきます。

会員の皆様のご指導とご支援を頂きながら、今年度の支部活動を着実に進めていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

以上

被災地は今（岩手県大船渡市）

株式会社菊池技研コンサルタント 菊池 透

岩手県の南東沿岸に位置する大船渡市は（図1）人口4万人弱の市で、県の4大重要港湾（久慈港、宮古港、釜石港、大船渡港）の一つを持つ港町です。



（図1：大船渡市の位置図）

太平洋に面していることから、気候は温暖で、冬でも積雪は少なく、気温も氷点下を下回る日は少ない地域です。夏の平均気温は25℃～27℃で海風の影響で夏も爽やかに感じられます。

主な産業は水産業が盛んで、世界三大漁場の三陸漁場は暖流と寒流が交わり、多くの種類の魚が水揚げされています。特に「秋刀魚」の水揚げに力を入れており、秋口にはサンマ船の入港が絶えません。サンマをアピールするため町を挙げて、秋刀魚ラーメンやさんまバーガーなど新たな地域産品の開発を推奨しています。

大船渡湾の湾口幅は850m、防波堤の開口部は水深16m、幅員201mと比較的狭く、北に5.2kmの奥行きを持ち平均水深20mの穏やかな天然の良港であります。古くは明治20年大船渡湾に日本海軍艦「雷電」が入港し天然の良港であることが認められ、大正11年には内務省の指定港湾に認定されました。現在でも「飛鳥Ⅱ」や「パシフィックビナス」等の豪華客船が毎年寄港しています。

大船渡湾の防波堤は、昭和35年のチリ地震津波の被害後に当時わが国初の大水深防波堤として建設され、幾多の津波をはねのけ建設以来50年間、大船渡の町を守ってきました。

この穏やかな港湾に2011年3月11日、突如襲いかかった魔物（津波）に自慢の防波堤は持ちこたえようと必死に抗ったのですが、ついに力尽き無残にも薙倒されてしまいました。しかし、湾港防波堤のおかげで津波の到達を遅らせたことも発表されております。

その後、その魔物はありとあらゆるものを呑み込みながら河川を遡上し、辺りのすべてを巻き込みながら幾多の命を奪い日常生活をも奪っていきました。

人々は途方に暮れ、生きる気力も失いかけていましたが、世界各国・日本各地の人々から励まされ、温かい支援の手を差し伸べていただき、いつの日かの復興を夢見て再び立ち上がる事が出来ました。



（新たに完成した大船渡湾港防波堤）

あれから6年の歳月が経ち、巨大な魔物に屈した湾口防波堤は、その雄姿を今年の3月に再び取り戻しました。震災を教訓とした新しい防波堤の高さは国内最高の11.3mで震災前の2倍以上です。防波堤に複数の開口部を設ける事により、外洋の海水がより多く湾内に流れ込むように設計され、湾内環境にも配慮されており、100年～150年に1度の津波に耐えられる設計となっております。

陸路では、平成28年3月13日、震災前に鉄道で運行していたJRは、鉄道敷を舗装化しBRTの運行を開始しました。その本数も通勤時間帯には30分に1本の割合で運行する事により、利用者の利便向上を図っております。それでも、鉄道を熱望する市民団体は鉄道の駅を中心としたまちづくりに今でも思いを寄せて

います。



(大船渡駅に到着したBRT大船渡線)

そのBRTの大船渡駅を中心としたまちづくりも着々と進展しています。同日、大船渡駅前交通広場などの完成を記念して、関係者ら約600人が出席し「第1期まちびらき」を開催しました。

震災直後、瓦礫となった建物や構造物が山積されていた場所は、程無く更地になりその後TP.5mに向けて嵩上げを開始、今年4月には駅周辺のモールや河川改修を祝い、「第2期まちびらき」を迎えるまでになりました。



(駅周辺に流れる、改修された須崎川)

その間、設計に携わったコンサルや工事を担当して頂いた建設会社の皆様には測り知れないご苦労があったものと思います。また、多くの市民と丁寧な対話を繰り返し、ご理解を頂いた自治体職員の対応には頭の下がる思いであります。

復興住宅や高台移転事業も着々と進められており、

災害市営・県営住宅も市内各地に25棟が建設され、多くの被災者が移転を始めております。これに伴い、市内の小中学校の校庭に建設されていた応急仮設住宅は集約撤去され、6年の歳月を経て校庭を自由に駆け回る児童生徒の元気な声が戻ってきました。今年からは市内各所で自校の校庭で運動会を再開出来る事になり、地域の方々の笑顔も増えたように感じられます。



(新たに完成した大船渡駅周辺のモール)



(新たに建設された駅周辺の災害公営住宅)

しかし、依然として仮設住宅にお住まいの方も少なくなく、阪神淡路大震災では5年ですべての応急仮設住宅は撤去されたことを考えますと、未だ復興には程遠い現実がそこにある事も事実です。

この様な実態も考え、我々建設コンサルタントはこの町に暮らす住民とのコンセンサスを図り、被災者に寄り添いながら、あの震災を語り継ぎ、学んだことを活かすように、これからも真の復興に邁進いたします。

ベトナムのイマドキ

三井共同建設コンサルタント株式会社 ハノイ事務所 出村 修

1. はじめに

最近CMに度々登場するようになったベトナム。海外の建設プロジェクトに携わる若手技術者をアニメで描いた大手建設会社CMは皆さん記憶にあるでしょう。さらに、旅すがらあちこちで「シンカムウン！（ありがとう）」とベトナム人に感謝される農業メーカーCMなど、誰でも知っているパクチー鍋（ベトナムにはありませんが）と並んで、随分と身近になってきたようです。

そんなベトナムに駐在事務所を開設して丸1年、経済発展めざましいベトナムのイマドキをご紹介します。

2. ベトナムのビル開発

ベトナムは、南北1,600km、直線で札幌-鹿児島間を超える国土をもち、陸では中国、ラオス、カンボジアと、南シナ海ではフィリピンと対峙し、人口は9,270万、4人に1人が30才未満という若い世代の国です。

社会主義国として一貫した政策で経済開放が進められたお陰で、今ではハノイやホーチミンでは40階建て以上の高層マンションが建設ラッシュ、街の様子は一変しつつあります。



(ハノイ：タイムズシティのマンション群)

南部のホーチミンには81階建て、ハノイにも72階建ての高層ビルがそびえ立つ一方で、ウナギの寝床を高層にした一般住宅がぎっしりとひしめき合っ林立しています。

まさに雨後の竹の子が生えだしたかのような風景の中で、ベトナムの新旧が入り交じって変貌しています。



(ハノイ市内の建設現場)



(Vinhome Riversideの1億円別荘)

3. ハノイの社会実験

近代的なビル建設が進む一方で、昨年9月、ハノイの中心地であるホアンキエム湖を周回する通りが週末





(ホアンキエム湖の歩行者天国)

限定で歩行者天国になりました。冬季は金曜の晩から日曜の深夜まで、夏場は夜間、ひっきりなしのクラクションやバイク音の喧騒から一転して、ゆったりした時間を取り戻しています。



(家族ぐるみで楽しむオーアंकアン)

若者に人気なのが、ニャイサップ (Nhay sap) という竹棒を使ったダンスです。さらに、綱引きや大縄飛び、竹馬、トヘ (To he) と呼ぶ粘土細工など、さまざまなイベントが開かれています。



(ハノイに出来たてのドリンク自販機)

ぐると1.7kmほどを散歩しながら見かけるのは、シンガーや、似顔絵描き、子供用の電動カー、ダンスパフォーマンスなどなど。もともとは、ベトナムの伝統的なものから現代的なものまで、芸術と文化がいっぱいの首都を再生しつつ、観光客を呼び込む社会実験です。

通りのあるところでは、民族衣装の音楽芸人が笛を吹き、お菓子を売り歩くおばさんや、風船売りのおじさんが声をかけてきます。

湖の畔には、ベトナムで初めてお目にかかったペットボトル自販機まで設置されました。

別な場所では、地べたに座って、伝統的なオーアंकアン (O an quan) という小石を使ったすごろくのような遊びを楽しむ子供連れや若者達があります。



(トヘ (To he) 粘土細工)



(大縄飛び)

都会では車やバイクに追われて場所が無くなったのか、今ではほとんど目にしない光景ばかりです。ボランティア学生達に混じってカップルや家族連れが、あちこちで笑い声を上げている様に、こちらもつられて

微笑んでしまいます。

ベトナムが大戦で無くした世代の思い出や経験が、
こういう形で脈々と継承されていくのでしょうか。

また、年明けには、世界銀行の融資による BRT が導入されて運行を開始しました。ハノイ中心部と南西部の郊外地区イエンギアを結ぶ 14.5km の路線に、23 のバスステーションが作られました。90 人乗りの新型バスを導入し、ピーク時には 5 分に 1 本を走らせますが、交通ルール遵守が難しいこの国では、バス専用レーンにバイクがなだれ込み、なかなか時間通りには運行できないようです。バイクが日頃の交通手段であるベトナムで、果たしてどこまで既存のバスに転換できるか大きなチャレンジです。



(ハノイで始まったBRT)

さらには、スマホを使った iParking と呼ばれる路上駐車場の予約管理システムアプリが配信されました。

これは、アプリから空いている駐車スペースを予約して、ニーズを効率的に管理するシステムで、料金収受もネットで行います。(1時間 1.5 万ドン、80 円弱)



(iParking とスマホアプリ)

評判は上々で、対象となる通りが増やされました。バイクの多さで名高いベトナムでも、車社会への進展を見越した政策が進んでいます。

4. 中秋節の伝統

新しい文化や施策をスピーディに取り込みながら、進化を続けているベトナムですが、古くからの伝統を大切にする姿も見られます。旧暦の 8 月 15 日、月から帰ってくる伝説のベトナム女性を迎えるため、子供達が提灯を灯して童謡を歌う行事です。この時、お茶と月餅を食べる習慣があり、街中では赤や黄色の派手なテントが立ち並び、あちこちで月餅が売られます。

伝統的な月餅は、茶色のまんじゅう皮と白色のもち皮の 2 種類があります。ずっしり重いその中には、アヒルの塩漬け卵や甘い豚肉、ナッツや餡などが入っていたりして各種各様。量も味もかなりヘビーなので、1 個食べればご飯代わりになりそうなくらいです。お



(月餅を売るテント店)

世話になった方や企業に贈ることもあり、5つ星ホテルがスイーツとして売り出すのも今頃です。



(アンコずっしりの塩漬け卵入り月餅)

近頃は、チョコやブルーベリー、大人向けのティラミス味もあって食べ易くなり、月餅アイスも登場しているそうです。

また、当日には獅子舞が練り歩き、子供達にはたくさんのお菓子が振る舞われます。



(灯笼売りの店々)

5. 最後に

ベトナムは日本の30年前に似ている、と言われます。立ち並ぶビルや別荘にしゃれたレストラン、富裕層の倍増など、折しも丁度、かつてのバブル期の始まりに重なります。その一方で、家族を大切にする伝統と国民性が生き続けているのも今のベトナムです。

日本がODA支援してきたインフラ整備や技術協力に加えて、これから先は、ベトナムの生活と融合した支援が必要になるでしょう。

40年前によく戦争を終えた国が、これからどのように発展するのか。街並みは変わっても、この国の伝統と文化が受け継がれていることを願いたいと思います。

復興と地域活性化を目指したかわまちづくり事業

株式会社東京建設コンサルタント 岡井 春 樹

閑上地区かわまちづくり事業

名取川河口の南側に位置する名取市閑上地区は、東日本大震災で甚大な被害を受けました。現在、高い防災力と魅力あるまちづくりを目指して、土地区画整理事業や災害公営住宅建設などにより、現地再建による復興まちづくりが進められています。これに併せ、閑上地区かわまちづくり事業にて、名取市と国土交通省が一体となって水辺空間を活かした賑わいのあるまちづくりを進めています。名取市が賑わい拠点や多目的広場、周辺施設からのルートを確認し、国土交通省が親水護岸や側帯整備等の支援を行います。また、国土交通省では、名取川と中貞山運河の合流点にて河川防災ステーションの整備を進め、防災力の向上、復興・再建を支援しています。

本稿では、かわまちづくり事業として国土交通省が支援、整備を進めている親水護岸を紹介します。



図-1 閑上地区かわまちづくり事業イメージ図



図-2 閑上地区周辺の復興工事状況（下流より望む）(H29.7.26施工状況)

地元の意見を取り入れた事業計画

かわまちづくり事業では、地元の意見も取り入れて、より持続的に活用される魅力あるまちづくりを目指しました。そのため、宮城県や名取市等関係機関、漁業協同組合や商工会等の関係団体、有識者、国土交通省による「水辺を活かしたかわまちづくり検討会」を設立、平成27年度に3回（2つの分科会を含めると9回）の検討会を開催して、施設整備計画等の策定を目的として、指導、助言をいただきました。本検討会は、平成28年度にはワーキンググループとして継続的に検討を重ねています。

次項より、かわまちづくり事業のうち、名取川に面する2つの施設について概要を紹介します。

復旧する水門の構造を利用した船着場

閑上地区には、名取川と阿武隈川を結ぶ中貞山川が、海岸線とほぼ平行に位置しています。かつては、この中貞山川と名取川を結ぶ舟運が活発で、検討会にて名取川沿いの船着場の整備事業が決定されました。

水際が既設特殊堤となっている部分は、船の接岸、乗降は困難ですが、中貞山側の合流点には、閑上水門が復旧工事中でした。この閑上水門工事にあわせて船着場の整備を設計しました。

閑上水門の翼壁は名取川の低水護岸に接続する構造となっています。この翼壁に接続する護岸の線形に凹状部分を作成し、背後のエプロン部分を乗降場として船着場としました。護岸構造は、自立式矢板構造を控え杭式矢板構造に変更し、根固めブロックまでの水深を確保することとしました。また、凹状部分は階段状とし、干満に応じてステップ途中から乗船可能な構造としました。



図-3 閑上水門上流に計画した船着場イメージ図



図-6 にぎわい拠点前テラスのイメージ図



図-4 閑上水門上流船着場施工状況 (H29.8.2)



図-7 にぎわい拠点前テラス施工状況 (H29.8.2)



図-5 散策路施工状況 (既設特殊堤による転落防止柵)



図-8 7月7日水辺で乾杯時のテラス

かわと一体となった賑わいを創出するテラス

かわまちづくり事業では、名取川堤防に側帯を整備します。整備区間のうち、閑上大橋に近い上流側で側帯を広く設置できる部分を活用し、商店などを設立する「にぎわい拠点」が名取市により計画されています。「にぎわい拠点」は、店舗から堤防天端に接続できます。さらに、店舗から堤防天端、名取川の水辺までの一体感を創出できるよう、名取川の低水護岸部分にテラスを設計しました。川表のり面は、勾配1:3.0～4.0の緩傾斜とし、また、天端からテラスまでは、幅広の階段と緩やかなスロープを配置して、自然に足が向くような一体感が生まれるよう配慮しました。

なお、このスロープは閑上水門部分の船着場から散策路にて接続しており、水辺の連続性を創出しています。散策路には、既設特殊堤を残置し、土木遺構となるよう目的を替えて、転落防止柵として再利用しています。

おわりに

閑上地区の工事は鋭意進んでおり、平成29年春には、船着場とテラスの形が見えてきました。

本年7月7日には、このテラス部分を特別に利用し、「閑上地区ミズベリング協議会」主催による「水辺で乾杯」が催されました。ヨシ原がきれいに見える川面近くのテラスに集まり、夕陽と月を同時に眺めながら夕涼みのなか乾杯した雰囲気は格別のものでした。平成30年度の工事完成、にぎわい拠点の始動に期待が膨らみます。本事業を通じて実施した地元の意見、助言の反映や合意形成内容など、今後の事業推進や計画、設計に活用していきたいと考えます。

今後、地域の方々の活動、運営の一助となれるよう、事業推進に寄与できればと考えます。

魅力ある建設コンサルタントを目指して

株式会社東コンサルタント 柴田 愛美

1. はじめに

私は、入社してから今年で3年目になります。

まだまだ技術力不足ですが、部署を問わず丁寧な指導を下される先輩方のおかげで幅広い知識と経験を得、日々成長過程にあることを実感しています。

さて、今回「女性技術者が思う建設コンサルタント」への寄稿という貴重な機会をいただきました。半人前ですが、建設コンサルタントに興味を持ったきっかけから技術者となって働いている中で女性・若手として考える、建設コンサルタントについて述べさせていただきます。

2. 「建設コンサルタント」へのきっかけ

私が、建設コンサルタントへの就職を目指したきっかけは2つあります。

1つは、中学時代に環境問題に関する授業で、「森林伐採等による森林減少への対応策として、人と自然の調和を目指した都市空間の形成が都市部では目指されている」ということを知りました。

挿絵には、建ち並ぶビルの中に都市公園や遊歩道の緑が点在するモデル都市が描かれ、構造物と自然の緑が織りなす情景の美しさに心奪われてしまい、以来、環境に配慮したまちづくりをしてみたいと思うようになりました。

もう1つは、東日本大震災です。

福島県内は、地震・津波等による甚大な被害を受けました。当時私は高専の2年生で、土木を専門として勉強していたこともあり、「震災後の復興に少しでも役に立ちたい」、「地元で社会貢献がしたい」との強い思いを抱くようになりました。

3. 業務に携わって

1年目は構造物設計、2年目からは造成計画や都市開発を主とする部署に所属しています。

私が初めて担当した業務は、函渠工設計でした。その時感じたことは、本の知識だけでは仕事は進められないということです。

例えば、発注者との打合せの進め方等は、担当技術者になって何回も経験を積まないと上達しないということ。設計では、文献に書いてある決まり事をクリアするのは当たり前で、そこからそれぞれの現場に合った合理的で配慮ある設計を求められるということです。そういった設計を目指すには、色々な業務から経験則を身につけることも大事なのだと感じました。

2年目に携わった公園設計では、市民参加型のまちづくり組織との会議に参加し、まちづくりに対する市民の声を直接聞くことができました。

地元をよく知る方々からは、より地域特性に重点を置いた意見が出され、あらゆる角度から設計を考えることの重要性を学びました。地元のコンサルタントだからこそ地域性を取り入れ、市民の声に耳を傾け、利用者に寄り添った設計を目指したいと思いました。



【仕事風景】



【現地踏査にて】

4. 若手技術者との交流

今年6月に、建設コンサルタンツ協会主催の「東北支部交流会」に参加させていただき、約50名の若手技術者と「建設コンサルタントが果たすべき今後の役割」についてグループ討論を行いました。

グループで建設コンサルタントの未来を真剣に考えるうちに、同じ悩みを抱える仲間なんだという意識が芽生えました。さらに皆の“建設コンサルタント業界をもっと良くしよう”という熱い思いに触発され、交流会を終えた頃には“私も負けていけない”と仕事への意欲がますます高まりました。

また、参加者には女性技術者の姿も多くあり、他社の女性の働き方についてお話を聞くことができました。女性技術者の知り合いが少ない私にとっては、同じ業界で働く女性との繋がりができたことがとても嬉しく楽しく感じました。



【交流会の様子】

5. 建設コンサルタントの魅力と課題

日頃の業務や、交流会での意見交換から感じたことは、「自分で計画・設計したものが形となって残り、それを多くの人に利用してもらえる夢のある仕事」、「性別のハンデを感じることなく、技術力を高めれば活躍のチャンスが多くある業界」このことが私にとって技術者であり続けたい理由であり、建設コンサルタントの最大の魅力だと思います。

一方で、技術者数と業務量との不釣り合い、年齢層がアンバランスという課題が聞かれています。また、女性であることのハンデを今は感じていないと前述しましたが、業界全体を見渡せば女性技術者が少なく、既婚の女性からは、仕事と家庭との両立が難しいといった意見もあって、現実の厳しさも感じているところです。

6. おわりに

私達の仕事は、人々が安心して豊かな生活を送れるよう、災害からまちを守り、社会資本を整備することです。生活基盤を支える役割を担っているため、責任重大ですし、誇りでもあります。これまで経験した仕事や交流会を通して、この魅力に改めて気付かされました。

一方、私達女性がやりがいや誇りを感じながら生き生きと仕事を続けるためには、この「魅力」だけではなく、より働きやすい環境も不可欠です。有休・産休・育休の取りやすさ、日々の労働負担の軽減等を実現することが働きやすい環境づくりに繋がると思います。良質な職場環境でエネルギーに働く私達の姿は、土木の悪いイメージを払拭し、土木業界に入ることをためらっている若い人達を呼び込めるかもしれません。

私は、これから女性・若手としての意見を積極的に発信することで、自分のためだけでなく、これからの技術者のため、業界の発展のために少しでも役立ちたいと考えています。

業界展望を考える若手技術者の会 東北支部交流会

東北支部 総務部会 若手の会 委員長 山本佳和
株式会社復建技術コンサルタント

1. 本部若手の会概要

建設コンサルタント協会本部では、総務委員会のWGとして「業界展望を考える若手技術者の会（通称：本部若手の会）」を平成27年4月に発足させた。本部若手の会では、「若手技術者が業界の諸問題や将来像、改善行動について議論を交わし、魅力ある建設コンサルタント業界を実現するために行動する」ことを目的に、建コン業界の将来像について意識を共有し、既成概念にとらわれない大胆で柔軟な議論を交わしている。また、各支部若手組織との交流会を開催し、グループディスカッションなどを通して若手技術者同士の意識共有を図っている。

2. 交流会開催の経緯

私は本部若手の会の委員として発足当初から活動しており、今回の「東北支部交流会」の開催を強く希望していた。さらに、昨年7月に東北支部若手の会が設立され、支部としての受け入れ態勢も整いつつあった。今回実施した「東北支部交流会」は、これまで、北陸、関東、九州、近畿の各支部交流会を実施しており、第5回目の支部交流会であった。

東北支部交流会の開催目的は以下の通りとした。

◆震災から6年が経過した東北において、“災害の脅威・威力を肌で感じ”“建コン業界が防災・減災に対して果たす役割を考える”ため、議論する場を提供する。

◆支部メンバー及び、本会メンバー間の親睦を図る。

上記を目的としたのは、震災から6年が経過しており、全国的には東日本大震災の事象が忘れ去られつつある中、本部若手の会と東北支部若手の会のメンバーの交流を深めるだけでなく、全国各地の本部メンバーに、“東北のいま”を感じてほしかったためである。

3. 交流会開催の概要

東北支部交流会は下記の通り開催した。

【1日目】

- ・日時：平成29年6月2日（金）13：00～17：30
- ・場所：TKP ガーデンシティ 30階 ホールA
- ・内容：本部、支部の取り組み紹介、グループ討議

【2日目】

- ・日時：平成29年6月3日（土）9：00～13：30
- ・場所：仙台市沿岸部、名取市沿岸部
- ・内容：津波被災箇所の復興状況視察等

日程	時刻	内 容
1日目 6/2(金)	13:00	現地集合 ～受付～ 本部メンバーは会場設営、参加者受付
	13:30	【東北支部交流会】（総合司会：山本佳） ・開会挨拶（本部若手の会代表・伊藤） ・若手の会における取組（本部・竹内）
	13:45	本部若手の会が考えるワークスタイルの提案（九州支部・最上）
	14:00	東北支部における取組（東北支部・石崎）
	14:15	各支部における取組紹介（本部・鈴木直）
	14:45	～休憩～（喫煙所：21階） グループディスカッション
	15:00	・趣旨及び方法説明（東北支部・山本） ※「東北地方のかかえる課題」について説明
		15:15 第1ラウンド テーマ：「建コンの果たすべき役割」について …20分×3ラウンド+移動5分×3回=75分
		15:40 第2ラウンド
		16:05 第3ラウンド
16:30 各テーブルで意見のとりまとめ 16:45 特に印象に残った意見を発表（一言程度）…3分×7班=約30分		
17:15	閉会のことば（本部・若松） 集合写真	
17:30	～終了～ ホテルチェックイン その後、徒歩にて懇親会会場へ	
2日目 6/3(土)	9:15	【現地研修】バス移動 ①仙台市沿岸部（蒲生～荒浜地区）、名取市沿岸部（関上地区） ②ケースメソッドに関する教育映像 ③次回に向けた課題の整理
	12:00	～昼食～ ゆりあげ港朝市 → 移動
	13:30	～終了～ 解散

1日目のグループディスカッションには、本部若手の会、東北支部若手の会、東北支部公募メンバーなど総勢45名が参加した。

2日目の現地見学会は30名が参加した。

若手の会の紹介

4. 【1日目】の活動報告

＜開会挨拶＞

伊藤昌明氏（本部若手の会代表、(株)オリエンタルコンサルタント）より、「若手技術者も、業界では一人ひとはすごく小さな存在だが、団結して行動すれば大きな力になる。一大ムーブメントを起こすのがわれわれのミッション。」と挨拶した。

＜本部若手の会の紹介＞

竹内聡氏（本部若手の会、開発技建(株)）より、「3Change + Share」という、市場革新、働き方革新、イメージ革新とそれらを共有する若手の会の活動紹介を行った。

＜東北支部若手の会の紹介＞

石崎覚史氏（東北支部若手の会、大日本コンサルタント(株)）より、各WG（交流会WG、イメージWG、調査WG）の活動紹介を行った。

＜グループディスカッション＞

冒頭、「東北地方のかかえる課題」として、東日本大震災や人口減少、所得、都市間距離、自然環境など東北地方がかかえる課題が提示され、「建コンの果たすべき役割」について7テーブルに分かれて討議した。



写真1 グループ討議の様子



写真2 グループ発表の様子

グループ討議後、テーブルごとに発表を行い、「人口は減少していくが、必要なインフラは減っていかない。一時的な延命では意味がないので、選択と集中により重要構造物から更新していき、将来的には地元を巻き込んだ維持管理ができるようになればいい。建コンは、技術者として行政と住民の橋渡し役になれば。」「中央コンサルと地方コンサルの人事交流制度を作ってみては。」といった意見が出た。



写真3 集合写真

5. 【2日目】の活動報告

仙台市沿岸部南部海岸や名取市閑上地区を訪れ、防潮堤整備など震災復興事業の進捗を見てまわった。現地視察では、塩谷章氏（仙台土木事務所）より説明を受けた。



写真4 現地視察の様子

6. おわりに（謝辞）

東北支部交流会の開催にあたり、ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

東北支部若手の会では、今後も本部若手の会や東北支部各委員会と連携し、“東北の”建コン業界の活性化に貢献していきたいと考えております。今後とも、ご指導、ご協力をお願いいたします。

技術士試験合格体験記

株式会社 復建技術コンサルタント 佐渡谷 嵩 朗

1. はじめに

私は、建設部門の「建設部門 道路」を受験しました。大学時は JABEE 認定コースに所属しており、二次試験には最少年齢から挑戦することができましたが、今回6度目の受験でようやく合格しました。ここでは、私が技術士試験に合格するまでの体験を紹介させていただきます。

2. 受験の動機

二次試験は当初は軽い気持ちで、初受験は様子見、2度目は腕試しなど、適当な理由を付け準備という準備はほとんどせず本番に臨んでいました。今となっては恥ずかしい話です。しかし先輩技術士の活躍を見て、自分もより高度な技術や判断力を必要とする業務に主体的に関わり、社会貢献したいと強く感じるようになりました。そのためにはどうしても技術士が必要だと考えたことが本格的に受験に臨むようになった動機です。

3. 筆記試験

業務多忙な中、やはり勉強時間の確保はままなりませんでした。そこで私はあえて論文を書く練習に時間を多く割かず、専門分野で出題が予想される様々なキーワードを体系化して覚えるトレーニングを行いました。例えば、「道路構造物の老朽化対策」というテーマに対して、メンテナンスサイクルの段階や、メンテナンスサイクルを回すための課題をいつでも瞬時に思い浮かべることができるよう、日頃から脳内を整理しておくものです。これを続けることで、初めは頭の中にあるものが、徐々に体で覚える、体が反応するという感覚に達しました。

筆記試験当日は、自分の中で組み立て整理していたものの中から、出題内容に合わせて必要部分を切り取りながら記述していくことができたように感じました。正

直手ごたえは無かったのですが、日々のトレーニングを本番で実践することができたことが筆記試験合格に繋がったのではないかと考えます。勉強方法として正しいかどうかわかりませんが、私には合ったやり方でした。

4. 口頭試験

私の口頭試験は、筆記試験の合格発表から約2ヶ月半後でした。この時間は私にとっては長く感じ、不安になることも多々ありました。しかし上司や先輩等に何度も模擬面接に付き合ってもらったことで、方向性を見出すことができました。またこれまで自分の経験してきた業務を再度見つめなおし、想定問答集を何度も更新し、模擬面接の場でそれを簡潔に説明するという繰り返しを行うことで、徐々に自信を付けていくことができました。私の場合は、質問に対する回答が長く、問われていないことまで答えてしまうという癖があったため、「簡潔に答える」ということを意識して取り組みました。

口頭試験当日は、良い緊張感を持って臨むことができました。想定外の質問もありましたが、動揺することなく、業務経験の中から柔軟に対応することができました。全体的に良い雰囲気のもと面接を進めて頂くことができました。

5. おわりに

二次試験受験にあたり、大変多くの方のご指導を頂きました。今後私が技術士として技術と人格を磨きこれを発揮し、広く社会貢献していくことで少しでも恩をお返ししていけたらと思います。

この場を借りて、ご指導して下さいました上司、先輩、建設コンサルタンツ協会の皆様に心より感謝申し上げます。

大人になってからの部活動

株式会社ダイエツ 樋口章大

1. はじめに

幼少の頃から体を動かすことが大好きで野球、サッカー、ドッジボール、水泳 etc. スポーツ以外でもとにかく夢中になっていたことを思い出します。その効果があったかは分かりませんが、運動神経は今でも良いほうかと自負しております。

小学校の頃サッカークラブに入りたかったのですが、両親の許可がおりずに悔しい思いをしたことを憶えています。中学校では当時「YAWARA」というアニメがテレビ放送しており、その影響を受け柔道部に入部し3年間続けてきました。また、高校と大学ではクラブなどには所属していませんでしたが、友人が所属していたスポーツクラブにお邪魔して体を動かしていました。

2. 大人の部活動

現在、私は、毎週日曜日の早朝にソフトボールで汗をかいています。オフシーズンもあり1年中までとはいきませんが、中年太りしてきた私の体には良い運動になっています。

私がソフトボールを始めたのは以前勤めていた上司に何気なく誘われたのがキッカケでした。社会人になってからというもの体を動かす機会が激減し、毎日の通勤だけがスポーツと化していました。そんな折、上司に「日曜日にソフトボールやっているけど来る？」と誘われ、ソフトボールの経験もなく、ましてや野球の経験もない私でしたが、ただ体を動かすことが好きなので「行きます！」と言ってから振り返れば早いもので10年近く大人になってからの部活動を楽しんでいます。

3. 週一の練習

練習は朝7時から9時の2時間。朝に弱い私でしたが、毎週その時間が来るのが楽しみで小学生時代に味わった、遠足の前夜に起こるあのワクワク感と同じものを今でも感じています。

各自で準備運動を終わらせ、キャッチボール、ノック、バッティングと基本的な練習をしています。野球の基

礎も知らない中での練習でしたが、経験豊富な大先輩の方々にご指導頂き日々成長を実感しております。

練習の中でもやはり好き嫌いがあり、私は内野のノックが苦手です。当初は何も考えずにやっていたためか「怖い」という意識はまったくなかったのですが、ある日、捕る直前でボールがイレギュラーをし、顔面に直撃したことが数回ありました。それからというもの「怖い」と感じるようになり、ゴロが来るたび逃げ腰になっているのが現状です。チームメイトも逃げ腰の私を知っているので、今では不動のレフト担当です。



【いつもの練習風景】



【フリーバッティング】

4. 試合とその後

日頃の練習の成果を存分に出す日が年に数回あります。この日ばかりは、温厚な我がチームメイトもメラメラと闘志を燃やしています。もちろん相手チームも同じで、この日のために厳しい練習を行ってきているんだなど、気合の入り具合で感じ取ることができます。

入部した当初からですが、未だにあの独特な雰囲気には慣れません。緊張のあまり体が硬くなってしまうと、普段通りのバッティングや守備が上手いかず、やってきたことをフルに出せないまま会場を後にすることもしばしばあります。

チーム一丸で臨むスポーツであるからこそ、結果を残せなかった、貢献できなかった時のヘコみ具合は一入で、帰り足でバッティングセンターへ一人向かうことも多々あります。また、時には監督の一声で「延長戦」という名の飲み会が多いのも事実です。それもまた楽しみの一つであり、さらにチームとしての結束力が強まる大切な行事だと私は思っています。



【白熱の一戦】

5. おわりに

ある日、定年を迎えられた方が「経験はないが健康を考え一緒にやりたい」と来られたことがありました。

未経験でも大歓迎なチームなので快く受け入れ、早速その日の練習に加わりました。ところが、日頃から運動をしていなかったのが原因なのか定かではありませんが、開始30分程で肉離れを起こし、動けなくなってしまったことがありました。

体を動かすことが好きなだけで入部した私ですが、日頃から体を動かし続けることが大事なんだと実感させられました。それを考えると、いくつになっても同じフィールドで若者と張り合っているチームメイトは素晴らしいと感じますし、尊敬できる存在です。私もチームメイトと同じ年になるまで続けて行くことを目標にしています。

最後になりましたが、部員の殆どの方が私の父親くらいの年齢で「オヤジと息子」のような関係の中、同じフィールドで楽しくプレーさせて頂いている事に感謝したいと思います。



【試合後の一枚】

—私たちは地球の未来環境を見つめています—

キタイ設計株式会社 常務取締役東北支社長 村 里 勲

はじめに

当社の前身である「北居測量設計事務所」が琵琶湖にほど近い滋賀県安土町で生まれたのは、1951年（昭和26年）でした。戦後復興と食糧増産のさなか、大中之湖の干拓事業をはじめとした土地改良事業を中心に、農業農村地域の発展に貢献するという社会的使命を果たすことで地域に認められ、育てられてまいりました。

とりわけ、農業農村工学部門は「生産・生活用水の確保」「洪水防止」「環境保全」と密接に関連します。それらの設計に携わることが関連する土木・建築のノウハウの蓄積につながり、今日の広範囲な事業展開を実現する「礎」となりました。

沿革

当社は、昭和26年に創業、昭和41年に改組以来、地域に根ざしたコンサルタントとして公共事業に従事してまいりました。現在は、本社のある滋賀県を始め、京都支社、大阪支社、西日本支社、山口支社、関東支社、東北支社を構えています。また東北支社は東日本大震災の翌年の平成24年に開設し、震災復旧、復興に微力ながら貢献してまいりました。

事業内容

ハード事業メインの『成長の時代』が終わり、ソフト中心の『成熟の時代』へ移りました。これは、「量から質へ」、「物から知恵へ」の転換を意味します。当社では、今までの経験を活かし、成熟時代を生き抜く技術力を強化し、特に次の分野に力を置いています。

●施設の維持・更新

我が国の社会資本は高度経済成長期に集中的に整備され、数十年という年月の中で全ての施設において老朽化が進行し、さらには自然環境や社会状況の変化によって、事故や災害につながるケースも予想されます。

当社は、既存ストックの効果的な活用とその長寿化に向けて、計画的な修繕・改築・更新を含む最適なライフサイクルマネジメントを提案しています。

●防災・安全

東日本大震災以降、各地で地震が頻発するとともに、地球規模での気候変動による水害や土砂災害の甚大化が懸念されています。

当社は、綿密な現地調査に基づいた構造物の機能確認のみならず、地盤や地下水の状態、さらには生態系への影響を含めた総合的な評価を行うことにより、安全性はもとより生態系やライフサイクルにも配慮した最適な対応策を提案しています。

●地球環境保全

地球規模での環境問題に対応するために、温室効果ガスの削減、資源・エネルギーの有効利活用、リサイクルの推進、生物多様性を目指した水と緑の保全・再生・創出等への積極的な取り組みが求められています。

当社は、地域に密着し、現地調査から技術的な検討、ワークショップや委員会の運営を通じ、地域住民の皆様とともに考え、人と自然が共存できる最適な姿を提案しています。

●国際貢献

MARD（ベトナム農業農村開発省）をはじめ、IWE（水かんがい環境研究所）、京都大学と連携して、地球温暖化ガスの抑制を含むベトナム農業にふさわしい改良型水管理モデルの構築を目指して、自主事業として共同研究に取り組んでいます。

平成29年には農林水産省大臣官房国際部発注の「平成29年度 ベトナム及びミャンマーにおける農業生産性・品質向上のための技術指導（ベトナム）」を受注し積極的に取り組んでいます。

建設コンサルタント



キタイ設計(株)

本 社	〒521-1398	滋賀県近江八幡市安土町上豊浦1030	☎0748-46-2336(代)
○東北支社	〒980-0801	宮城県仙台市青葉区木町通2丁目6-53	☎022-343-5416(代)

未来を測る、未来を創る企業を目指して

株式会社ふたば 代表取締役 遠藤 秀文

弊社は、昭和46年11月、農業土木の測量会社として富岡町に創業した企業です。その後、業務の拡大に伴い、双葉測量設計株式会社として組織を改め、そして東日本大震災後の平成25年に株式会社ふたばに社名を変更して、現在に至っています。

東日本大震災と原発事故により、浜通り地方を始め沿岸部は甚大な被害を受け、富岡町にあった弊社は全社避難を余儀なくされ、社員もそれぞれバラバラとなってしまいました。

「一日も早く事業を再開し、地元相双地域等に恩返ししなければならない」との決意で、震災から1か月後の4月に避難先の郡山市に本社機能を移し、相馬市といわき市にも事業所を構え、業務を再開しました。

震災前は、農業土木を中心とした測量設計業務が中心でしたが、「復興のためならどんな仕事でもやろう」との思いから仕事の幅を広げてきました。建設コンサルティングでは、災害復旧等を中心に海岸、河川、漁港、下水道、土地改良のほか、環境コンサルティングでは海外の沿岸域の環境保全を取り扱っています。

弊社は、ドローン、3Dレーザースキャナ、MMS、ラジコンボート等を組み合わせて、陸・海・空からいろいろな角度で三次元の測量ができることを得意としております。例えば、富岡町の観光名所である夜ノ森の桜並木もドローンやレーザースキャナ等により測量し、立入りが制限された街並みや施設なども三次元データ化してきました。

お陰様で、震災後の厳しい状況の中、CSR活動も含め、社員が一丸となって乗り切ってきたことが認められ、平成27年3月に、経済産業省の「頑張る中小企業300社」に選定して頂きました。

今年4月に富岡町は避難指示解除となり、町役場、県の出先機関、警察署、一部の金融機関や商業施設等が戻ってきました。弊社も、復興の加速化に貢献するうえで、地元へ戻る事が不可欠との思いから、富岡



夜ノ森の桜並木 三次元データ化

に本社社屋と社宅の整備を進めてきました。そして、8月末からは相馬といわきの事業所も統合し、新社屋での業務再開とともに、同時に完成した郡山支社社屋での業務もスタートさせました。



平成29年8月に完成した富岡本社

重要なのは、帰還する自治体等の傍にある存在だと考えています。県内とはいえ、遠く郡山から富岡に通うよりも、近くにいれば安心という面があります。また、国家プロジェクトとして復興業務に携わる現地機関や企業ともお付き合いできることで、違ったサービスが根付くチャンスもあると考えています。

弊社は、復旧・復興に関わったプロセスの経験を活かして、省力化や安全性を高めることなど、復興・創生とともに、新しいサービスを作っていくことが大事だと思っています。そして、付加価値の高いサービスを目指すことを通じて、「未来を測り、未来を創る」ことの具現化に努めていきたいと考えています。

最後になりますが、今後とも富岡町や双葉郡をはじめとした県内各地の復興・創生、そして発展に貢献できるよう努めてまいりますので、皆様のご指導ご支援を賜りますようお願い致します。



株式会社 ふたば

本社

福島県双葉郡富岡町大字小浜字中央592番地
TEL:0240-22-0261 FAX:0240-22-0368

郡山支社

福島県郡山市安積3丁目157番地2
TEL:024-954-3832 FAX:024-954-3835

URL:<http://www.futasoku.co.jp/>

平成29年度支部定時総会

4月21日(金)16:45からパレス宮城野において会員103社中73社が出席し、平成29年度支部定時総会が開催されました。



定時総会会場

議事は、遠藤支部長議長のもと、次の方々の議事録署名人を選出し議事に入った。

加藤 一也 (株)サトー技建 代表取締役)

伊東 成一 (株)福山コンサルタント 東北支社長)

続いて、議案の審議が次のとおり進められました。

(1)平成28年度事業報告について

事務局長から一般報告として、会員数・内訳、事業報告として、各委員会の委員長から報告がありました。

(2)平成29年度事業計画

遠藤支部長から平成29年度の事業の基本方針として、

- ①東北地方の社会資本整備の担い手として、東日本大震災からの復興の加速化を支援すると共に、住民に豊かな生活、地域の安全・安心が保てる社会資本整備の必要性を訴えていく活動を実施する。
- ②魅力ある建設コンサルタントとするため、受発注者共同による健全な労働環境の改善を提案し、担い手が集う環境の整備を進める。

③災害協定に基づく連携を強化するため、既定の協定の見直しや訓練等を検討する。

④プロポーザル方式及び総合評価落札方式において、技術力を重視した方式や地域企業の参加可能な方式などを具体的に提案することにより、入札契約制度の改善を推進する。

⑤価格競争において、東北地方整備局における入札価格向上の改善、地方自治体における低価格調査制度と失格基準の改善などを提案することにより、適正な競争制度の確立に寄与する。

⑥会員企業が優良な技術と知恵を持続的に提供し続けるために、技術者育成と更なる技術力向上に取り組む。

⑦建設コンサルタント事業領域拡大のため、発注者支援業務への積極的な取り組みと、CMなど新たな業務領域を提案する。また、コンサルタントの多様な活用を図り、品質向上を実現するため、設計共同体方式の更なる活用を提案する。

⑧不当な取引制限や不当な低価格競争等を排除し、コンプライアンスを遵守する。

の提案があり、続いて、各委員会の委員長から各々の委員会での事業計画の説明がなされた。

(3)平成29年度収支予算について

事務局長から説明があり、その後質疑があったが、質問はなく終了した。

第1号議案 平成28年度決算について

事務局長から決算報告の説明があり続いて、熊坂監事から会計監査結果報告がなされ、承認されました。

第2号議案 役員の選任について

事務局長から支部役員の改選について、支部役員推薦者名簿の提案説明があり、その後、満場一致をもって承認可決された。

その後、支部長より新役員の紹介があった。

その他 意見・質問は無く、その後伊藤副支部長から閉会の挨拶があり、18:00時終了しました。

平成29年度「建設コンサルタントの要望と提案」意見交換会

7月6日（水）パレス宮城野において本部と東北地方整備局・東北各県及び仙台市との意見交換会を開催しました。

出席者

（東北地方整備局）

川瀧局長、安田副局長、信原建設産業調整官、高村河川部長、樋口道路情報管理官、中島港湾空港部長、永井技術調整管理官、瀧澤技術開発調整官、亀井技術管理課長

（青森県）新井田県土整備部理事

（岩手県）八重樫県土整備部河川港湾担当技監

（宮城県）金子土木部次長（技術担当）

（秋田県）田口建設部技術管理課長

（山形県）佐藤県土整備部建設技術主幹

（福島県）杉土木部次長（企画技術担当）

（仙台市）川上利整備局参事

（建設コンサルタンツ協会）

村田会長、高野副会長、木谷副会長、永治常任理事、野崎常任理事、渡邊常任理事、馬場常任理事、花岡常任理事、寺本常任理事、福島常任理事、大村対外活動部会委員、三百田対外活動副委員長、梅原常任理事、高野参与、浅古業務部長、柳澤企画次長

（建設コンサルタンツ協会東北支部）

菅原支部長、伊藤副支部長、村上副支部長、中田対外活動委員長、松川広報委員長、長崎総務部会長、佐藤地域コン委員長、向田技術副部会長、小原情報部会長

はじめに東北地方整備局川瀧局長および建コン村田会長の挨拶、次に出席者紹介があり、次の様な意見交換が行われました。

意見交換

「建設コンサルタントの要望と提案」

1. 魅力ある建設コンサルタントに向けた担い手の育成・確保のための環境整備
2. 技術力による選定
3. 品質の確保・向上



（川瀧局長挨拶）



（村田会長挨拶）

9月1日「災害時対応演習」を実施

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は東北地方に激甚な被害をもたらしました。震災から6年半、復旧・復興へ向けて国、自治体あげて懸命の取り組みが続いております。東北支部も大震災では国、宮城県との災害協定に基づき、被災状況の調査などに取り組みましたが、この震災対応を今後の被害対応に生かすべく、東北各県との災害協定の締結など検討を進めているところです。

建設コンサルタンツ協会では、毎年「災害時行動計画」に基づく演習を毎年実施しております。

本年度は9月1日（金）中国地方（高知県室戸岬沖）においてマグニチュード8.0の大規模地震が発生し、東北支部に災害対策支部を設置したとの想定で演習を実施しました。

- ① 中国支部に災害対策現地本部を設置するとともに本部に災害対策本部を設置
 - ・災害対策本部から各支部に対し災害対策の指示
 - ・上記指示に基づき支部長から災害対策支部員の招集、災害対策東北支部設置
 - ・災害対策東北支部から災害対策本部へ支部設置の報告
- ② 災害対策支部員から「連絡会員」へ被害状況を携帯電話により照会
 - 連絡会員から被害状況をFAXにて受信
- ③ 災害対策本部及び災害対策現地本部から災害時行動支援の要請
- ④ 災害対策東北支部から「調査員の派遣」を協議・調査員派遣会員から災害地現地調査員の派遣の同意をFAXにて受診

今回の演習にあたり支部の「防災演習計画」及び進行予定表を作成し、その中で支部会員103社の内15社を「連絡会員」として又12社を「災害現地調査派遣会員」と抽出し連絡伝達等の演習を行うこととした。

また、会員各社には、会社独自の演習を実施するよう要請しました。

※実施項目 1. 建物（特にエレベーター）、什器、備品類～損壊、転倒等の点検

2. 停電、断水、ガス漏れの点検
3. 消火器（使用期限）、トランジスタラジオ、携帯電話、懐中電灯の点検
4. 非常用保存食品、救急医薬品、作業用具の点検
5. 出張職員等の安否の確認

今回の演習の通信連絡はEメール、FAX、電話の併用ですが、「災害伝言ダイヤル」も運用されました。

「連絡会員」及び「災害現地調査会員」にご指名されました会員各社には、ご多忙の中ご協力いただきありがとうございました。



連絡会員会社に被災状況照会する災害対策東北支部員

連絡会員

(株)東コンサルタント、(株)ウスマ地域総研、応用地質(株)、(株)キタコン、(株)協和コンサルタンツ、協和設計(株)、(株)建設技術研究所、(株)国際開発コンサルタント、大和工営(株)、(株)中央技術コンサルタンツ、(株)東北開発コンサルタント、日栄地質測量設計(株)、(株)福田水文センター、(株)ふたば

災害現地調査会員

(株)オリエンタルコンサルタンツ、川崎地質(株)、キタイ設計(株)、(株)ケー・シー・エス、サンコーコンサルタンツ(株)、玉野総合コンサルタント(株)、大日本コンサルタント(株)、(株)ダイヤコンサルタント、中央開発(株)、東京コンサルタンツ(株)、パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)復建技術コンサルタント

建設技術公開 EE東北'17について

今年で27回目の開催となる『EE東北'17(イーイー トウホク イチナナ)』が下記の通り開催されました。EE東北は Engineering Exhibition (エンジニアリング エキシビション) の略で毎年、建設事業に関わる新技術、新工法、新材料、その他時代のニーズに対応して開発された技術が公開されてきました。

主催はEE東北実行委員会(委員長・東北地方整備局・企画部長)で19の建設関連団体等から構成され、建設コンサルタント協会東北支部もその1員となっております。

■開催概要

期 間：2017年6月7日(水)～6月8日(木)

場 所：みやぎ産業交流センター《夢メッセみやぎ》

来場者数：15,700人(過去最多)～主催者発表値

出 展 者：292団体・企業

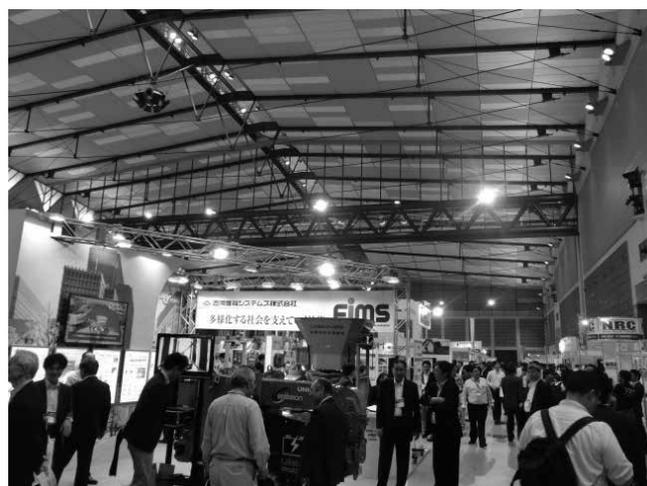
出展技術：869(過去最多)

今年のテーマ：『広げよう新技術つなげよう未来へ』

建設コンサルタント協会東北支部からも以下のとおり27社(グループ出展含む)が参加し、新技術の紹介展示を行いました。また今年が3回目の開催となったUAV競技会の総合技術部門では当支部会員の(株)アスコ大東が(優勝、ベスト計測賞、プレゼンテーション賞)の各賞を受賞されました。



オープニングセレモニー



会場の様子

■東北支部会員 出展技術一覧

	会員企業名	出展技術名	概 要
1	(株)アサノ大成基礎エンジニアリング	新型BTV機能付きフローメータ検層装置 新型小孔径観測孔用流速流向計	1度の検層で水みちとなっている割れ目を特定することが可能 ボーリング孔で地下水の流速と流量が検出できます
2	朝日航洋(株)	河川堤防点検システム「刈測(Calsok)」 UAVレーザー計測システム 航空レーザー測探システム	SIP研究開発テーマ：大型除草機械によるモグラ(小動物)穴の面的検出システム 航空機LIDERを補完するUAVを用いたレーザースキャナ計測 効率的な河川管理のためのモニタリングシステム
3	(株)アスコ大東	UAVレーザーシステムによる地形計測 道路保全計画システムによる予防保全計画 VRビューアの活用(打合せ協議の臨場化技術)	レーザースキャナ搭載UAVによる3次元点群データを活用した測量技術 道路保全計画システムによる道路施設の一括管理と予防保全 VRビューアの活用による打合せ協議の臨場化
4	(株)ウスマ地域総研	地上・水中・空中3次元計測技術の融合活用	LS計測・UAV計測・ADCP計測のハイブリット化によるダイナミックな3次元地形データの提供
5	応用地質(株)	高精度ポジショニング地中レーダ 防災システム サバイバース 長距離無線システム AirLinker	高精度な位置情報をリアルタイムで取得し、隙間の無い地中レーダ探査結果をご提供 "迅速かつ的確"な災害対応へ - 発災時緊急対応支援システム - 長距離無線LANシステム

6	(株)オリエンタルコンサルタンツ	OCMAX ～統合型公共施設等データベース～	建物からインフラまで公共施設の情報を一元管理
		WCN（ワイヤレスコールナンバー）交通流動把握の提案	ETC通信を活用した新たな調査手法により、簡易かつ低コストに交通流動や交通実態の分析、検討をご提案します
		地域の拠点運営から地域活性化事業の推進	「観光」、「包括管理・自主事業」、「地域メディア推進」を融合して地域活性化を総合的にマネジメント
7	基礎地盤コンサルタンツ(株)	GP（ゲルプッシュ）サンプラー	GPサンプリングは、試料を高濃度ポリマーで包むことで、乱さない地盤試料を高品質で採取します
		SBIFT（原位置せん断・摩擦強度試験）	SBIFTとは、ボーリング孔の中で、地盤の周辺摩擦力（f）・強度定数（C、Φ）を求める試験方法です
		土壌浄化モニタリングカプセル	土壌カプセルとは、観測井内に汚染土壌を詰めた容器を吊り下げ、浄化の経過に伴い土壌分析を行う容器です
		浸出水浄化マス	浸出水浄化マスは、盛土より浸出する自然由来重金属等の汚染浸出水の浄化設備です
		3N注入工法：土壌地下水油汚染自動浄化システム	ナノバブル水、油分ナノ分解剤及び栄養塩を油汚染地盤に注入し、微生物を活性化させて浄化します
8	(株)建設技術研究所	家畜糞尿等を用いたバイオガスプラント開発	地下水の水質汚濁対策及び地域資源を活用したエネルギー創出を可能にし、併せて地域産業の発展に貢献します
		水理模型実験と水理解析の連携技術	縮尺模型水路実験と数値解析により水理現象を把握し、適切な河川改修計画の技術的サポートを行います
		環境情報の三次元可視化技術	三次元可視化技術を用いて環境情報を表現することにより、効果的・効果的な環境保全に貢献します
9	(株)構研エンジニアリング	既設落石防護擁壁の補強工法ソイルバンパー	既設無筋コンクリート製落石防護擁壁の耐衝撃性を1,000kJ級に向上させるための緩衝システム
		道路トンネル点検システム ロードビューワ	道路トンネル点検において、複数台のカメラによりトンネル内の動画を撮影し、連続展開画像を作成する工法
		移動式定点撮影システム	GPS位置情報を利用した移動式定点撮影システム「位置情報プログラミングにより同一箇所を繰り返し自動撮影が可能」
10	国際航業(株)	防災情報提供システム	防災情報をワンストップで提供！企業のBCP活動を支援します
		道路施設維持情報管理システム	【GISで点検～予算管理計画データを蓄積】いつ、どこが悪くなり、補修すべきか。補修費用はいくらか
		GPS自動計測システム（斜面の変位観測）	Shamen-net 3次元計測で地表の僅かな変位を捉える！～幅広い分野で防災や安全管理に貢献～
		3次元空間解析クラウドサービス	「KKC-3D」専門知識不要。初期投資不要。短時間で完成！！
		ドローン運航・3次元計測スクール	情報化施工・i-Construction対応を強力にサポート！
11	(株)昭和土木設計	ICTを活用した3D設計イノベーション	最新3D技術によるi-Construction/CIMへのアプローチ
12	(株)ダイエツ	走行画像計測によるトンネル点検	トンネル等の構造物を高解像度ビデオカメラで点検・診断を行う画像スクリーニング技術
		画像診断・計測技術を活用した橋梁点検	橋梁を高性能カメラで点検・診断を行う画像スクリーニング技術
		小断面トンネルなどの画像計測・診断技術	小規模トンネルなどを小型カメラを用いて撮影・診断を行う画像スクリーニング技術
13	大日本コンサルタント(株)	特殊橋を含む橋梁の耐震補強技術	当社が保有する耐震補強技術等を活用した、橋梁耐震補強計画のサポート
		橋梁、海岸堤防に対する地震・津波の複合防災技術	避難計画や構造物の地震・津波対策を目的とした数値解析による粘り強い構造物の評価技術
		地震時における斜面崩壊の予測技術	地震時の斜面の崩壊を事前に予測して、路線ネットワークの防災・減災計画に活用
14	(株)ダイヤコンサルタント	非破壊調査・診断技術	波で状態を診る！－基礎杭の長さ把握・健全性からグラウンドアンカーの健全性評価まで－
		高真空N&H工法	気水分離システムの導入により高い新空圧を継続的かつ安定に維持できる改良型真空圧密工法
		光（色）による可視化モニタリング技術	光で危険を知る！－あらゆる計測データを光の色で即時確認・判断－
15	玉野総合コンサルタント(株)	用地取得マネジメント支援システム	特許取得／事業予定地のルート比較による事業費や用地取得のリスクを考慮した事業期間のシミュレーションが可能
		コストマネジメント支援システム	施工計画の成果である図面と工程表、事業費をデータベースで一元管理する「コストマネジメント支援システム（特許第4965189号）」を開発しました
16	中央開発(株)	双方向遠隔自動監視システム「観測王」	現場の情報をいち早く得るために様々な観測機器をリアルタイム監視する双方向遠隔自動監視システム
		斜面崩壊検知センサー「感太郎」	設置の簡素化・多点化を可能にする軽量・省エネ・狭小・安価な斜面崩壊感知センサー
		地盤情報提供サービス「地盤情報ナビ」	地盤情報や災害リスクに関する想定情報を検索できる専門家向けのポータルサイトです

17	中央復建コンサルタンツ(株)	CIM-トンネル設計への試行	これまでの豊富なCIMに関する業務経験を活かした山岳トンネル設計へのCIMの活用!
		動画測光技術を活用したトンネル路面輝度測定	交通規制が不要で容易にトンネル内路面輝度が把握できるため、照明設備更新計画や道路施設管理に活用できます
		トンネル用蓄光式誘導表示板	蓄光機能を付加した視認性に優れたトンネル内の誘導表示板
18	(株)長大	型枠リユースシステム リユースボード「型丸」	コンクリート建設廃材を循環型建設資材にする「型枠リユースシステム」
		コンクリート用夜間反射塗料「Re-Flex」	ドライバーの視認性を高め、走行安全性を向上します
		橋梁の維持管理に関するコンサルティング	橋梁の点検・診断、補修計画、補修設計など、橋梁を適切に維持管理するためのコンサルティングを行います
		斜張橋ケーブル点検ロボット「VESPINAE」	斜張橋ケーブルの近接点検を安全かつ迅速に実施できる点検ロボット
19	(株)東京建設コンサルタント	河道河床部を流れる掃流砂の観測技術	超音波流速計(SSJ計)で得られる反射強度の分散特性を活用した掃流砂量連続モニタリング技術の開発
		画像処理型非接触流速計測技術(ASP)	標定点のいらない新たな標定手法による画像処理型非接触流速計測の解析サービスを、ASPサイトで提供します
20	(株)ドーコン	二輪型マルチコプタによる橋梁点検支援研究	二輪型マルチコプタを用いたジオタグ付近接画像を取得可能な橋梁点検支援ロボットシステムの研究開発
		CSG技術	コスト縮減と環境負荷軽減に資するCSG技術
		軟弱地盤対策工法-グラベル基礎補強工法-	グラベル材を高強度帯状ジオシンセティックスで巻き上げた合成部材を敷設した盛土の軟弱地盤対策工法
21	日本工営(株)	CIM技術のコンサルティングとソリューション	計画・調査・設計・維持管理にBIM/CIM技術を活用するコンサルティングとソリューション
22	(株)ネクスコ・エンジニアリング東北	橋梁桁端部塩害対策 簡易水切り材	~塩害による損傷から橋梁桁端部を予防する~
		帯状ガイドライト(帯状視線誘導)	帯状の光を路面に照射し、外側線の位置を連続的な線状の光で明示します
		フレキシブル・コネクター(視線誘導灯強化)	視線誘導灯の発光体部分を腐食と衝撃から守るコネクター
23	パシフィックコンサルタンツ(株)	三次元堤防診断システム GIMS-K	高精度GPSと空洞調査をコンバインドした新しい堤防下探査診断システム
		樋門・樋管の点検・診断システム【走行式・フロート式】	河川構造物の樋門・樋管を効率的かつ効果的に点検・診断を行うシステム
		UAVによるダムの上・水中の3次元計測	多視点画像3D構築技術によるダム上・水中点検システム
		土砂防災情報提供サービス[どしゃぶる]	"生命の危険からの自発的回避"のため土砂災害危険情報サービス
		河川流量算出ソフトウェア「DIEX-Flow」	流体の運動方程式に基づいた流速内外挿操作によって、河川流量観測を高効率化・低コスト化・高精度化
		スマホを活用した道路パトロール支援システム 道路パトロイド	スマホ等でパトロール結果を簡単に登録できる「道路パトロイド」に街路樹点検管理、苦情処理機能を追加!
		走行型計測によるトンネル調査MIMM-R	走行型計測技術による高精度地形測量及びトンネル調査システム【MIMM-R】
		統合型インフラ維持管理システム	社会資本インフラ情報を適切に蓄積・管理し、情報の共有化・見える化を支援
		多視点画像3D構築技術による橋梁調査	多視点画像計測によるインフラ構造物(橋梁)の3D技術
24	(株)バスコ	3次元データによるICT土工技術	3次元地形情報の取得・解析から施工後の維持管理までi-Constructionをトータルサポートします
		航空レーザー測探機(ALB)による河床計測技術	航空機を用いて、広域かつ面的に陸・河床・海底の高精度な3次元地形を取得します
		MMSによる河川堤防及び道路の巡視点検技術	MMS(モバイルマッピングシステム)を活用した巡視点検にて、堤防の安全性強化及び維持管理業務を支援します
25	(株)復建技術コンサルタント	RCレーダによるコンクリート内部探査技術	コンクリート構造物内部をRCレーダを用いて探査し、3次元的に内部状況を把握する技術
		UAV・CIMの活用事例	UAVやCIMを活用し3Dによる見える化を図ることで、各種インフラの設計・施工や維持管理、合意形成等で効率化・高度化を図ります
		コンクリート表層品質の定量的評価試験	コンクリートの表層部品質試験《透気係数試験(Torrent法)》、《表面吸水試験(SWAT法)》の紹介
26	復建調査設計(株)	ジオスライサー	地震災害の軽減を目指したジオスライサーによる地層調査
		小高復興デザインセンター	福島県南相馬市小高において、地域を復興するための協働の拠点です
27	八千代エンジニアリング(株)	ダムの連続サイホン式取水設備	空気によって止水を行う新しいタイプの選択取水設備
		CIMを用いた設計と維持管理	CIMは3次元形状と属性情報を融合させたデータモデルであり、ダム事業への活用技術を紹介いたします

東北地方整備局 HP より抜粋 (公表名簿順)

平成 29 年度 東北支部会員 東北地方整備局 優良業務 局長表彰 一覧

請負業者名	業 務 名	技術者氏名	企業所在地	所管事務所	業務区分
(株)長大 仙台支社	道路交通の円滑化に向けた調査検討業務	(管理技術者) 西坂 淳	仙台市 若林区	道 路 部	土 木 (道路)
(株)建設技術研究所 東北支社	岩木川浸水想定区域検討業務	(管理技術者) 高坂 保孝加	仙台市 青葉区	青 森 河川国道	土 木 (河川)
(株)建設技術研究所 東北支社	筑川浸水想定区域等検討業務	(管理技術者) 高坂 保孝加	仙台市 青葉区	仙 台 河川国道	土 木 (河川)
(株)地圏総合コンサルタント 仙台支店	岩手山土石流災害リスク検討業務	(管理技術者) 家田 泰弘	仙台市 青葉区	岩 手 河川国道	土 木 (砂防・地すべり)
セントラルコンサルタント(株) 東北支社盛岡営業所	高田地区外道路詳細設計業務	(管理技術者) 佐藤 宗孝	岩手県 盛岡市	三陸国道	土 木 (道路)
大日本コンサルタント(株) 盛岡事務所	三陸北部地区橋梁検討業務	(管理技術者) 小橋 朋和	岩手県 盛岡市	三陸国道	土 木 (道路)
川崎地質(株) 宮古営業所	釜石大槌地区地質調査	(主任技術者) 太田 史朗	岩手県 宮古市	南 三 陸 国 道	地質調査
(株)東京建設コンサルタント 東北支社	名取川閘上地区かわまちづくり運用 計画検討外業務	(管理技術者) 岡井 春樹	仙台市 青葉区	仙 台 河川国道	土 木 (河川)
仙台河川国道管内交通安全事業外 監理業務 東北地域づくり・近代設計 設計共同体 ((一社)東北地域づくり協会・ 近代設計(株))	仙台河川国道管内交通安全事業外監 理業務	(管理技術者) 高橋 重道	仙台市 青葉区	仙 台 河川国道	土 木 (その他(発注者支援))
(株)協和コンサルタンツ 東北支店	三陸沿岸道路 歌津気仙沼地区道路測 量設計業務	(管理技術者) 中村 勇二	仙台市 青葉区	仙 台 河川国道	土 木 (道路)
川崎地質(株) 北日本支社	旧北上川盛土影響対策調査検討業務	(管理技術者) 太田 史朗	仙台市 宮城野区	北 上 川 下流河川	土 木 (河川)
東邦技術(株)	秋田管内地質調査	(主任技術者) 岩野 利広	秋田県 大仙市	秋 田 河川国道	地質調査
パシフィックコンサルタンツ(株) 秋田事務所	雄物川上流自然再生検討業務	(管理技術者) 堀合 孝博	秋田県 秋田市	湯 沢 河川国道	土 木 (環境調査)
いであ(株) 東北支店	雄物川上流山頭首工治水対策等検 討業務	(管理技術者) 古堅 雄士	仙台市 青葉区	湯 沢 河川国道	土 木 (河川)
いであ(株) 東北支店	久慈港閉鎖性海域における環境保全 方策検討業務	(管理技術者) 加藤 誠	仙台市 青葉区	釜石港湾	港 湾 (計画調査)
(株)復建技術コンサルタント 秋田支店	切石高架橋梁詳細設計業務	(管理技術者) 石橋 努	秋田県 秋田市	能 代 河川国道	土 木 (橋梁)
(株)ドーコン 東北支店	鳥海ダム堤体材料試験業務	(管理技術者) 尾山 玲	仙台市 青葉区	鳥 海 ダム工事	土 木 (ダム)
(株)三和技術コンサルタント	梨郷道路(川西地区)外再算定業務	(主任担当者) 佐藤 信彦	山形県 村山市	山 形 河川国道	補 償
(株)ダイヤコンサルタント 東北支社	山形北部地区トンネル点検	(管理技術者) 杉浦 高広	仙台市 青葉区	山 形 河川国道	土 木 (トンネル)
パシフィックコンサルタンツ(株) 山形事務所	管内道路機能検討業務	(管理技術者) 村上 康裕	山形県 鶴岡市	酒 田 河川国道	土 木 (道路)
(株)福山コンサルタント 東北支社	管内道路整備効果検討業務	(管理技術者) 石倉 麻志	仙台市 青葉区	酒 田 河川国道	土 木 (道路)

請負業者名	業 務 名	技術者氏名	企業所在地	所管事務所	業務区分
相馬福島道路（霊山～福島）事業監理業務セントラル・大林・公共用地補償機構・鴻池設計共同体 （セントラルコンサルタント（株）東北支社福島営業所・（株）大林組東北支店・（一財）公共用地補償機構・（株）鴻池組東北支店）	相馬福島道路（霊山～福島）事業監理業務	（管理技術者） 柳 橋 巧	福島県 福島市	福 島 河川国道	土 木 （その他（発注者支援））
東京コンサルタンツ（株）東北支店	霊山地区橋梁詳細修正設計業務	（管理技術者） 大野 一成	仙台市 青葉区	福 島 河川国道	土 木 （橋梁）
（株）オリエンタルコンサルタンツ福島事務所	沼尾シェッド補修設計業務	（管理技術者） 古賀 秀幸	福島県 郡山市	郡山国道	土 木 （道路）
八千代エンジニアリング（株）福島事務所	磐城国道管内交通対策測量設計業務	（管理技術者） 宮武 裕樹	福島県 郡山市	磐城国道	土 木 （道路）
（株）キタコン	津軽ダム流量観測等業務	（主任技術者） 桑田 賢	青森県 弘前市	岩木川 ダム統合管理	測 量
（株）寒河江測量設計事務所	平成28年度 寒河江ダム流量観測及び採水等調査	（主任技術者） 鈴木 誠	山形県 寒河江市	最上川 ダム統合管理	測 量
釜房ダム水質保全対策検討業務水源地環境センター・建設環境研究所設計共同体 （（一財）水源地環境センター・（株）建設環境研究所）	釜房ダム水質保全対策検討業務	（管理技術者） 木村 文宣	東京都 千代田区	釜房ダム	土 木 （ダム）
応用地質（株）福島支店	三春ダム水辺現地調査（ダム湖環境基図作成）業務	（管理技術者） 浅見 和弘	福島県 福島市	三春ダム	土 木 （環境調査）
（株）復建技術コンサルタント	コンクリート構造物の品質確保に関する検討業務	（管理技術者） 飯土井 剛	仙台市 青葉区	東北技術	土 木 （その他（コンクリート））
パシフィックコンサルタンツ（株）東北支社	仙台塩釜港仙台港区向洋地区岸壁構造検討業務	（管理技術者） 山口 達治	仙台市 青葉区	仙 台 技術調査	港 湾 （設計）

平成 29 年度 東北支部会員 東北地方整備局 優良業務 事務所長表彰 一覧

請負業者名	業 務 名	技術者氏名	企業所在地	所管事務所	業務区分
(株) 福山コンサルタント 青森営業所	津軽自動車道計画設計業務	(管理技術者) 原田 慎也	青森県 青森市	青 森 河川国道	土 木 (道路)
エイト技術 (株)	一日市地区河道掘削用地調査等業務	(主任担当者) 小笠原 健一	青森県 八戸市	青 森 河川国道	補 償
(株) 東京建設コンサルタント 青森事務所	馬淵川浸水想定区域検討業務	(管理技術者) 川島 幹雄	青森県 青森市	青 森 河川国道	土 木 (河川)
(株) 長大 仙台支社	青森管内構造物補修設計業務	(管理技術者) 虻川 高宏	仙台市 若林区	青 森 河川国道	土 木 (道路)
日本工営 (株) 仙台支店	高瀬川・小川原湖水辺現地調査（環境基図）業務	(管理技術者) 稲村 真一	仙台市 青葉区	高 瀬 川 河 川	土 木 (環境調査)
(株) 復建技術コンサルタント 盛岡支店	岩手河川国道事務所管内橋梁補修設計業務	(管理技術者) 飯土井 剛	岩手県 盛岡市	岩 手 河川国道	土 木 (橋梁)
応用地質 (株) 東北支社	北上川上流水辺現地調査（魚類）業務	(管理技術者) 播磨 さおり	仙台市 宮城野区	岩 手 河川国道	土 木 (環境調査)
日本工営 (株) 北東北事務所	岩手管内河川系電気通信施設設計業務	(管理技術者) 津島 博志	岩手県 盛岡市	岩 手 河川国道	土 木 (電気通信)
国際航業 (株) 盛岡支店	岩手河川国道事務所管内防災点検補修設計業務	(管理技術者) 中村 芳貴	岩手県 盛岡市	岩 手 河川国道	土 木 (道路)
(株) 福山コンサルタント 北東北事務所	岩手管内整備効果検討業務	(管理技術者) 原田 慎也	岩手県 盛岡市	岩 手 河川国道	土 木 (道路)
川崎地質 (株) 北日本支社	一関遊水地地質調査業務	(主任技術者) 大坪 智博	仙台市 宮城野区	岩 手 河川国道	地質調査
いであ (株) 盛岡営業所	北上川上流大規模氾濫治水対策検討業務	(管理技術者) 黒川 信敏	岩手県 盛岡市	岩 手 河川国道	土 木 (河川)
エイト技術 (株)	田野畑洋野地区用地調査等業務	(主任担当者) 小笠原 健一	青森県 八戸市	三陸国道	補 償
中央コンサルタント (株) 盛岡事務所	宮古地区電線共同溝設計業務	(管理技術者) 前田 修	岩手県 盛岡市	三陸国道	土 木 (道路)
新日本技研 (株) 岩手事務所	三陸国道管内橋梁補修補強設計業務	(管理技術者) 西川 貴志	岩手県 盛岡市	三陸国道	土 木 (道路)
パシフィックコンサルタント (株) 盛岡事務所	三陸沿岸地区設計業務	(管理技術者) 小山 智広	岩手県 盛岡市	三陸国道	土 木 (道路)
いであ (株) 盛岡営業所	道の駅「高田松原」他設計業務	(管理技術者) 佐々木 貢	岩手県 盛岡市	三陸国道	土 木 (道路)
(株) 福山コンサルタント 北東北事務所	南三陸整備効果検討業務	(管理技術者) 原田 慎也	岩手県 盛岡市	南三陸国道	土 木 (道路)
新日本技研 (株) 岩手事務所	南三陸国道北地区実施設計業務	(管理技術者) 佐藤 和樹	岩手県 盛岡市	南三陸国道	土 木 (道路)
(株) 建設環境研究所 東北支社	名取川水辺環境調査業務	(管理技術者) 町田 禎之	仙台市 宮城野区	仙 台 河川国道	土 木 (河川)
三井共同建設コンサルタント (株) 東北支社	阿武隈川下流亘理地区築堤詳細設計外業務	(管理技術者) 本田 正修	仙台市 青葉区	仙 台 河川国道	土 木 (河川)
大日本コンサルタント (株) 東北支社	三陸沿岸道路 気仙沼地区橋梁修正設計業務	(管理技術者) 吉岡 勉	仙台市 青葉区	仙 台 河川国道	土 木 (橋梁)
(株) ウヌマ地域総研	中山平地区線形改良用地調査等業務	(主任担当者) 北 嶋 豊	秋田県 秋田市	仙 台 河川国道	補 償
日本工営 (株) 仙台支店	三陸沿岸道路 南三陸気仙沼地区環境調査業務	(管理技術者) 志俣 和宏	仙台市 青葉区	仙 台 河川国道	土 木 (環境調査)
(株) パスコ 仙台支店	仙台湾南部海岸外空中写真測量業務	(主任技術者) 野口 卓	仙台市 宮城野区	仙 台 河川国道	測 量

請負業者名	業 務 名	技術者氏名	企業所在地	所管事務所	業務区分
日本工営 (株) 仙台支店	水防災意識醸成方策等検討業務	(管理技術者) 遠藤 和志	仙台市 青葉区	北上川 下流河川	土 木 (その他(防災))
東京コンサルタンツ (株) 東北支店	旧北上川右岸河川構造物詳細設計 等業務	(管理技術者) 松川 秀敏	仙台市 青葉区	北上川 下流河川	土 木 (河川)
東邦技術 (株)	旧北上川河口部用地関係申請図書 作成業務	(主任担当者) 泉 清 司	秋田県 大仙市	北上川 下流河川	補 償
八千代エンジニアリング(株) 東北支店	吉田川上流(善川地区)堤防等概 略設計他業務	(管理技術者) 秋山 和也	仙台市 青葉区	北上川 下流河川	土 木 (河川)
鳴瀬川総合開発環境影響評 価検討業務 水源地環境センター・建設 技術研究所設計共同体	鳴瀬川総合開発環境影響評価検討 業務	(管理技術者) 大杉 奉功	東京都 千代田区	鳴瀬川 総合開発	土 木 (環境調査)
日本工営 (株) 仙台支店	鳴瀬川総合開発ダムサイト等地質 総合解析業務	(管理技術者) 中 孝 仁	仙台市 青葉区	鳴瀬川 総合開発	地質調査
(株)建設技術研究所 東北支社	子吉川浸水想定区域検討業務	(管理技術者) 鈴木 正 規	仙台市 青葉区	秋 田 河川国道	土 木 (河川)
八千代エンジニアリング(株) 東北支店	刺巻地区道路設計外検討業務	(管理技術者) 野田 英 治	仙台市 青葉区	秋 田 河川国道	土 木 (道路)
(株)ウヌマ地域総研	子吉川河道掘削(本荘地区)用地 調査等業務	(主任担当者) 渡邊 謙 吾	秋田県 秋田市	秋 田 河川国道	補 償
創和技術 (株)	子吉川河川横断測量調査	(主任技術者) 藤島 金正	秋田県 秋田市	秋 田 河川国道	測 量
(株)オリエンタルコンサルタンツ 秋田事務所	湯沢管内交通事故検討業務	(管理技術者) 松戸 努	秋田県 秋田市	湯 沢 河川国道	土 木 (道路)
東京コンサルタンツ (株) 東北支店	雄物川上流岩瀬湯野沢地区樋門詳 細設計等業務	(管理技術者) 松川 秀敏	仙台市 青葉区	湯 沢 河川国道	土 木 (河川)
(株)寒河江測量設計事務所	間倉地区外用地調査等業務	(主任担当者) 秋場 頼雄	山形県 寒河江市	湯 沢 河川国道	補 償
(株)ニュージェック 東北支店	森吉山ダム堤体挙動解析等業務	(管理技術者) 大野 健一	仙台市 青葉区	能 代 河川国道	土 木 (ダム)
セントラルコンサルタント(株) 東北支社 秋田営業所	竜毛沢地区構造物設計業務	(管理技術者) 佐藤 宗孝	秋田県 秋田市	能 代 河川国道	土 木 (道路)
東邦技術 (株)	切石地区地質調査	(主任技術者) 佐藤 智宏	秋田県 大仙市	能 代 河川国道	地質調査
柴田工事調査 (株)	鳥海ダム貯水池(中村地区)用地 調査等業務	(主任担当者) 高橋 恵一	秋田県 湯沢市	鳥海ダム 工 事	補 償
(株)ウヌマ地域総研	鳥海ダム後山地区湛水線測量	(主任技術者) 石綿 智幸	秋田県 秋田市	鳥海ダム 工 事	測 量
日本工営 (株) 仙台支店	鳥海ダム地すべり等調査	(管理技術者) 金子 和亮	仙台市 青葉区	鳥海ダム 工 事	土 木 (砂防・地すべり)
鳥海ダム百宅線他道路予備 設計業務 オリエンタルコン サルタンツ・エイテック設 計共同体 代表者(株)オリエンタル コンサルタンツ 秋田事務所	鳥海ダム百宅線他道路予備設計業 務	(管理技術者) 木村 重喜	秋田県 秋田市	鳥海ダム 工 事	土 木 (道路)
応用地質 (株) 東北支社	成瀬ダム斜面对策実施設計業務	(管理技術者) 中居 英樹	仙台市 宮城野区	成瀬ダム 工 事	土 木 (ダム)
柴田工事調査 (株)	成瀬ダム(トクラ地区)用地調査 等業務	(主任担当者) 高橋 恵一	秋田県 湯沢市	成瀬ダム 工 事	補 償
日本工営 (株) 仙台支店	成瀬ダム堤体実施設計業務	(管理技術者) 中村 浩之	仙台市 青葉区	成瀬ダム 工 事	土 木 (ダム)

特 集

請負業者名	業 務 名	技術者氏名	企業所在地	所管事務所	業務区分
パシフィックコンサルタンツ(株) 山形事務所	最上川上流浸水想定等検討業務	(管理技術者) 田中 真也	山形県 鶴岡市	山 形 河川国道	土 木 (河川)
(株) 福山コンサルタント 東北支社	山形南部地区道路検討業務	(管理技術者) 田村 友治	仙台市 青葉区	山 形 河川国道	土 木 (道路)
(株) 復建技術コンサルタント 山形支店	酒田管内道路設計業務	(管理技術者) 青沼 慎也	山形県 山形市	酒 田 河川国道	土 木 (道路)
(株) 東京建設コンサルタント 東北支社	最上川下流浸水想定区域図検討業務	(管理技術者) 川島 幹雄	仙台市 青葉区	酒 田 河川国道	土 木 (河川)
新和設計 (株)	最上川下流定期横断測量	(主任技術者) 芳賀 幸裕	山形県 米沢市	酒 田 河川国道	測 量
いであ (株) 東北支店	最上川中流洪水予測・まるまち検討業務	(管理技術者) 滝口 大樹	仙台市 青葉区	新庄河川	土 木 (河川)
パシフィックコンサルタンツ(株) 福島事務所	阿武隈川上流伏黒管内河川管理施設監理検討業務	(管理技術者) 武田 光弘	福島県 郡山市	福 島 河川国道	土 木 (河川)
(株) 福山コンサルタント 福島営業所	福島管内渋滞対策検討業務	(管理技術者) 鳥頭尾 昌宏	福島県 福島市	福 島 河川国道	土 木 (道路)
阿武隈川水系砂防事業評価 検討業務 砂防エンジニア リング・地圏総合コンサル タント設計共同体	阿武隈川水系砂防事業評価検討業務	(管理技術者) 尾崎 順一	埼玉県 川越市	福 島 河川国道	土 木 (砂防・地すべり)
応用地質 (株) 東北支社	相馬福島道路水文調査業務	(主任技術者) 尾上 秀司	仙台市 宮城野区	福 島 河川国道	地質調査
(株) 建設環境研究所 東北支社	阿武隈川上流環境モニタリング調査業務	(管理技術者) 長本 大介	仙台市 宮城野区	福 島 河川国道	土 木 (環境調査)
新和設計 (株)	阿武隈川水系砂防施設巡視業務	(主任技術者) 高橋 真司	山形県 米沢市	福 島 河川国道	測 量
パシフィックコンサルタンツ(株) 福島事務所	福島管内事故対策検討業務	(管理技術者) 江種 基	福島県 郡山市	福 島 河川国道	土 木 (道路)
(株) オリエンタルコンサルタンツ 福島事務所	藤地区環境調査業務	(管理技術者) 森本 尚弘	福島県 郡山市	郡山国道	土 木 (環境調査)
日本工営 (株) 福島営業所	下郷地区環境調査業務	(管理技術者) 柏館 信子	福島県 福島市	郡山国道	土 木 (環境調査)
(株) 建設技術研究所 東北支社	郡山国道管内事故対策検討業務	(管理技術者) 柳木 功宏	仙台市 青葉区	郡山国道	土 木 (道路)
国際航業 (株) 福島営業所	三和地区図化業務	(主任技術者) 花田 睦実	福島県 郡山市	磐城国道	測 量
セントラルコンサルタント(株) 東北支社 福島営業所	相馬地区道路詳細設計業務	(管理技術者) 佐藤 拓弥	福島県 福島市	磐城国道	土 木 (道路)
大日本コンサルタント (株) 福島事務所	磐城管内防災点検・設計業務	(管理技術者) 山口 淳熙	福島県 郡山市	磐城国道	土 木 (その他(防災))
(株) 復建技術コンサルタント 福島支店	磐城国道管内道路計画設計業務	(管理技術者) 松本 稔	福島県 郡山市	磐城国道	土 木 (道路)
応用地質 (株) 東北支社	H27-28 津軽ダム地すべり調査解析業務	(管理技術者) 仙石 昭栄	仙台市 青葉区	岩木川 ダム統合管理	土 木 (ダム)
(株) 三協技術	御所ダム堆砂測量	(管理技術者) 島田 亘	仙台市 青葉区	北上川 ダム統合管理	測 量
(株) ニュージェック 東北支店	長井ダム堤体挙動解析検討業務	(管理技術者) 大野 健一	仙台市 青葉区	最上川 ダム統合管理	土 木 (ダム)
(株) 三和技術コンサルタント	寒河江ダム外部変形測量	(主任技術者) 高橋 俊広	山形県 村山市	最上川 ダム統合管理	測 量
(株) 復建技術コンサルタント	鳴子ダム水辺現地調査(魚類)業務	(管理技術者) 佐藤 高広	仙台市 青葉区	鳴子ダム	土 木 (環境調査)

請負業者名	業 務 名	技術者氏名	企業所在地	所管事務所	業務区分
鳴子ダム管理資料整理検討業務水源地環境センター・八千代エンジニアリング設計共同体	鳴子ダム管理資料整理検討業務	(管理技術者) 磯部 久貴	東京都 千代田区	鳴子ダム	土 木 (ダム)
パシフィックコンサルタンツ(株) 東北支社	釜房ダム管理施設調査設計業務	(管理技術者) 佐久間 謙史	仙台市 青葉区	釜房ダム	土 木 (ダム)
八千代エンジニアリング(株) 東北支店	釜房ダム堆砂による影響等検討業務	(管理技術者) 橋口 泰三	仙台市 青葉区	釜房ダム	土 木 (ダム)
応用地質(株) 東北支社	七ヶ宿ダム水辺現地調査(ダム湖環境基図ほか)業務	(管理技術者) 播磨 さおり	仙台市 宮城野区	七ヶ宿ダム	土 木 (環境調査)
朝日航洋(株) 東北空情支社	玉川ダム貯水池堆砂測量	(主任技術者) 羽山 洋一	仙台市 泉区	玉川ダム	測 量
応用地質(株) 東北支社	玉川ダム周辺地すべり調査解析業務	(主任技術者) 仙石 昭栄	仙台市 宮城野区	玉川ダム	地質調査
応用地質(株) 東北支社	月山ダム貯水池周辺地山観測監視業務	(管理技術者) 中居 英樹	仙台市 宮城野区	月山ダム	土 木 (ダム)
(株)建設技術研究所	三春ダム貯水池運用検討業務	(管理技術者) 高木 秀治	仙台市 青葉区	三春ダム	土 木 (ダム)
日本工営(株) 福島営業所	摺上川ダムテレメータ施設設計業務	(管理技術者) 津島 博志	福島県 福島市	摺上川ダム	土 木 (電気通信)
パシフィックコンサルタンツ(株) 東北支社	東北西部地区河川管理施設点検調査業務	(管理技術者) 森田 大作	仙台市 青葉区	東北技術	土 木 (河川)
中央復建コンサルタンツ(株) 東北支社	青森港本港地区堤埠頭岸壁(-7.5m)(改良)取付部修正設計外業務	(管理技術者) 中野 尊之	仙台市 青葉区	青森港湾	港 湾 (設計)
パシフィックコンサルタンツ(株) 青森事務所	八戸港航路泊地(埋没)付帯施設外実施設設計	(管理技術者) 瀬良 敬二	青森県 青森市	八戸港湾・空港	港 湾 (設計)
復建調査設計(株) 東北支店	仙台塩釜港仙台港区向洋地区土質調査	(管理技術者) 菅野 雄一	仙台市 青葉区	塩釜港湾・空港	港 湾 (土質調査)
(株)日本港湾コンサルタント 東北支社	秋田港飯島地区船舶係留検討調査	(管理技術者) 山部 道	仙台市 青葉区	秋田港湾	港 湾 (計画調査)
中央復建コンサルタンツ(株) 東北支社	小名浜港東港地区岸壁構造検討業務	(管理技術者) 中野 尊之	仙台市 青葉区	仙 台 技術調査	港 湾 (設計)

[支部だより]

4月10日(月)

平成28年度会計監査
場 所／支部会議室

4月10日(月)

第1回役員会
場 所／支部会議室
議 題／(1)平成29年度支部定時総会について
(2)各分会・委員会からの報告事項
(3)その他

4月20日(木)

技術部会道路専門委員会
場 所／支部会議室

4月21日(金)

役員会
場 所／パレス宮城野
議 題／(1)平成29年度支部定時総会について
(2)その他

4月21日(金)

定時総会講演会
場 所／パレス宮城野
講 演：「東北地方整備局における最近の取り組み」
東北地方整備局 副局長 安田 吾郎 氏
参加者 112名

4月21日(金)

平成29年度支部定時総会
場 所／パレス宮城野
議 題／(1)平成28年度事業報告について
(2)平成29年度事業計画について
(3)平成29年度収支予算書について
(4)平成28年度決算報告について
(5)役員改選について
そ の 他
103社中73社出席

4月21日(金)

若手の会
場 所／支部会議室

4月25日(火)

広報委員会
場 所／支部会議室
議 題／(1)平成29年度講演会について
(2)J C C A TOHOKU56号編集について
(3)その他

4月26日(水)

総務部会
場 所／事務局会議室
議 題／(1)平成29年度年間行事予定及び担当者選出
(2)「復興から創生そして近未来への提言」への対応
(3)その他

4月28日(金)

宮城県建設センター「建設技術者のための基礎
研修・1」へ講師派遣
講 師／今村 隆弘 (株)復建技術C)
正岡 裕之 (応用地質株)
山口 淳熙 (大日本C株)

5月15日(月)

技術部会環境専門委員会
場 所／支部会議室

5月17日(水)

技術部会総会
場 所／パレス宮城野
議 題／(1)平成28年度事業報告について
(2)平成28年度各専門委員会活動報告
(3)平成29年度事業計画(案)及び予算
(4)平成29年度各専門委員会委員の承認
(5)その他
出席者 97名

5月18日(木)

第1回地域コン委員会
場 所／支部会議室
議 題／(1)本部地域コン委員会の報告
(2)その他

5月18日(木)

情報部会

場 所／支部会議室

議 題／(1)今年度の各WG活動計画
(2)各種講習会の開催計画
(3)その他

5月19日(金)

宮城県建設センター「建設技術者のための基礎
研修・2」へ講師派遣

講 師／石井 一人 (パシフィックC(株))

5月23日(火)

第2回役員会

場 所／支部会議室

議 題／(1)本部・整備局意見交換会について
(2)各部会・委員会からの提案、連絡事項につ
いて
(3)その他

5月24日(水)

対外活動委員会

場 所／支部会議室

議 題／(1)平成 28 年度意見交換会報告
(2)平成 29 年度意見交換会について
(3)その他

5月25日(木)

技術部会構造専門委員会

場 所／支部会議室

5月26日(金)

技術部会道路専門委員会

場 所／支部会議室

5月30日(火)～6月2日(金)

道路橋メンテナンス技術講習会

場 所／TKPガーデンシティー仙台東口 他
主催 本部・全国建設研修センター
東北支部 技術部会 (現場実習 担当)

6月1日(木)～2日(金)

三次元CADハンズオン講習会

場 所／アーク仙台ビル会議室

主 催 東北支部 情報部会 受講者 両日 20 名

6月6日(火)～7日(水)

EE東北'17

場 所／夢メッセみやぎ

入場者 2日間延べ人数 15,700 名

6月7日(水)

山形県防災情報伝達訓練

6月7日(水)

技術部会道路専門委員会

場 所／支部会議室

6月12日(月)

宮城県防災訓練

6月13日(火)～14日(水)

青森県建設技術センター平成 29 年度「土質研修会」

へ講師派遣

講 師／正岡 裕之 (応用地質(株))

今村 隆弘 (株)復建技術C)

山口 淳熙 (大日本C(株))

6月16日(金)

広報委員会

場 所／支部会議室

議 題／(1)平成 29 年度講演会役割分担について
(2)J C C A TOHOKU56 号編集について
(3)本部広報専門委員会の報告他

6月20日(火)

第3回役員会

場 所／支部会議室

議 題／(1)平成 29 年度本部・整備局意見交換会につ
いて
(2)各委員会からの提案議題・連絡事項
(3)その他

6月28日(水)

総務部会 (WG)

場 所／支部会議室

6月29日(木)

CIM導入研修会

場 所／宮城県建設産業会館

主 催 (一財)日本建設情報総合センター東北地方
センター、(一社)東北測量設計協会、(一社)
建設コンサルタンツ協会東北支部
受講者 155 名 (内建コン 57 名)

支部だより

7月4日(火)

東北地方整備局平成29年度「道路構造物技術
セミナー」へ講師派遣
講師／石井 一人 (パシフィックC(株))

7月5日(水)

技術部会地盤専門委員会
場所／支部会議室

7月5日(水)～7月6日(木)

CIMハンズオン講習会
場所／アーク仙台ビル会議室
主催 本部 情報部会 ICT 委員会 CIM 技術専門委
員会
東北支部 情報部会
受講者 5日 18名、6日 16名

7月6日(木)

本部・整備局意見交換会
東北地方整備局 川瀧局長 他16名
本部 村田会長 他15名
支部 菅原支部長 他8名

議題

1. 平成29年度建設コンサルタントの要望と提案
2. 意見交換

7月13日(木)

「マネジメントセミナー」
場所／ホテル法華クラブ仙台
主催 本部 受講者118名

7月19日(水)

平成28年度東北地方整備局国土交通行政関係
功労者表彰式

東北地方整備局では国土交通行政関係功労者に対し
て表彰式を行っています。

本年度は優良業務施行会社、災害対策功労者として、
次の会員の方々が受賞されました。

誠におめでとうございます。

[優良業務施行会社]

(株)長大 仙台支社

道路交通の円滑化に向けた調査検討業務

(株)建設技術研究所 東北支社

岩木川浸水想定区域検討業務

筑川浸水想定区域等検討業務

(株)地圏総合コンサルタント 仙台支店

岩手山土石流災害リスク検討業務

セントラルコンサルタント(株) 東北支社盛岡営業所

高田地区外道路詳細設計業務

大日本コンサルタント(株) 盛岡事務所

三陸北部地区橋梁検討業務

川崎地質(株) 宮古営業所

釜石大槌地区地質調査

(株)東京建設コンサルタント 東北支社

名取川閑上地区かわまちづくり運用計画検討他業務

(株)近代設計

仙台海川国道管内交通安全事業外監理業務

(株)協和コンサルタンツ 東北支社

三陸沿岸道路歌津気仙沼地区道路測量設計業務

川崎地質(株) 北日本支社

旧北上川盛土影響対策調査検討業務

東邦技術(株)

秋田管内地質調査

パシフィックコンサルタンツ(株) 秋田事務所

雄物川上流自然再生検討業務

いであ(株) 東北支店

雄物川上流山田頭首工治水対策等検討業務

久慈湊閉鎖性海域における環境保全方策検討業務

(株)復建技術コンサルタント 秋田支店

切石高架橋梁詳細設計業務

(株)ドーコン 東北支店

鳥海ダム堤体材料試験業務

(株)三和技術(株)

梨郷道路(川西地区)外再算定業務

(株)ダイヤコンサルタント 東北支社

山形北部地区トンネル点検

パシフィックコンサルタンツ(株) 山形事務所

管内道路機能検討業務

(株)福山コンサルタント 東北支社

管内道路整備効果検討業務

東京コンサルタンツ 東北支店

霊山地区橋梁詳細修正設計業務

(株)オリエンタルコンサルタンツ 福島事務所

沼尾シェッド補修設計業務

八千代エンジニアリング(株) 福島事務所

磐城国道管内交通対策測量設計業務

(株)キタコン

津軽ダム流量観測等業務

(株)寒河江測量設計事務所

平成28年度寒河江ダム流量観測及び採水等調査

応用地質(株) 福島支店

三春ダム水辺現地調査(ダム湖環境基図作成)業務

(株)復建技術コンサルタント

コンクリート構造物の品質確保に関する検討業務

パシフィックコンサルタンツ(株) 東北支社

仙台塩釜港仙台港区向洋地区岸壁構造検討業務

[災害対策功労者](多数の為、会社名のみ)

(株)復建技術コンサルタント盛岡支店、国際航業(株)盛岡

支店、(株)建設技術研究所、大日本コンサルタント盛岡事務所、(株)エイト日本技術開発、(株)片平エンジニアリング東北支店、(株)オリエンタルコンサルタンツ、(株)近代設計、(株)東建工営、(株)昭和土木設計、(株)復建技術コンサルタント、陸奥テックコンサルタント(株)、いであ(株)東北支店、国際航業(株)東北支社、(株)エイト日本技術開発東北支社、アジア航測(株)仙台支店、(株)アスコ大東東北支店、(株)東建工営、(株)パスコ東邦事業部、サンコーコンサルタント(株)東北支店、復建調査設計(株)東北支店、(株)ウエスコ東北事務所、(株)キタコン、(株)コサカ技研、三井共同建設コンサルタント(株)東北支社、エイト技術(株)、(株)菊池技研コンサルタント、(株)田村測量設計事務所、(株)サトー技建、(株)三協技術、(株)ウヌマ地域総研、(株)パスコ青森支店、(株)パスコ秋田支店、東邦技術(株)

7月20日(木)

第4回役員会

場 所／支部会議室

議 題／(1)本部・整備局意見交換会概要報告
(2)各県との意見交換会について
(3)その他

7月25日(火)

対外活動委員会

場 所／支部会議室

議 題／(1)本部・整備局意見交換会概要報告
(2)各県との意見交換会について
(3)その他

7月26日(水)

総務部会 (WG)

場 所／支部会議室

7月27日(木)

総務部会 (WG)

場 所／支部会議室

8月1日(火)

情報部会

場 所／支部会議室

議 題／(1)各WGの活動報告について
(2)各種講習会について
(3)その他

8月2日(水)

総務部会

場 所／支部会議室

議 題／(1)今後の役割分担の再確認について
(2)交流会の最終確認事項について
(3)その他

8月3日(木)

技術部会 (構造専門委員会)

場 所／支部会議室

8月3日(木)・4日(金)

G I S講習会

場 所／アーク仙台ビル 会議室

主 催 本部 情報部会 ICT 委員会 ICT 普及専門委員会

支 部 情報部会 受講者 両日 20名

8月8日(火)

総務部会 (WG)

場 所／支部会議室

8月30日(水)

福島県土木部職員専門研修「監督業務 (工事監理)」

へ講師派遣

講 師／兒玉 浩行 (株)エイト日本技術開発

9月1日(金)

災害時対応演習 [11:00 ~ 15:00]

11:00 四国地方 (高知県室戸岬沖) においてマグニチュード8.0の大規模地震が発生し、東北支部に災害対策支部を設置したとの想定で災害対策支部員を招集、会員の被災状況を把握するため、予め決めていた連絡会員会社15社へ携帯電話により被害状況照会、会員より被害状況をFAXにより受信。

また、被災現地への派遣のため、予め決めていた災害現地調査派遣会員12社と協議・派遣等の訓練を実施した。

9月1日(金)

総務部会 (WG)

場 所／支部会議室

支部だより

9月4日(月)

「コンクリートに関する3工法および
CIM導入ガイドライン説明会」

場 所／ハーネル仙台

主 催 (一社)建設コンサルタンツ協会東北支部
(一社)日本建設業連合会東北支部

受講者 170名

9月5日(火)

広報委員会

場 所／支部会議室

議 題／(1)JCCA TOHOKU56号の編集について
(2)平成29年度講演会について
(3)50周年記念事業の予定について

9月7日(木)

福島県土木部職員専門研修「主査クラス」へ講師派遣
講 師／佐藤 和憲(陸奥テックC(株))

9月12日(火)

経営者委員会

場 所／ホテル法華クラブ仙台

議 題／(1)本部地域コンサルタント委員会の報告
(2)本部・整備局意見交換会について

講演会「i-Construction」における
建設コンサルタントの役割

講師：(一社)日本建設機械施工協会東北支部
施工部会 情報化施工技術委員会

委員長 鈴木 勇治 氏

9月12日(火)

岩手県土木技術専門研修「土木構造物実習、道路・
河川計画」へ講師派遣

講 師／菖蒲 幸男(応用地質(株))

正岡 裕之(応用地質(株))

9月13日(水)

岩手県防災協定締結式

岩手県庁において「災害時における応急対策業務
に関する協定」の締結式を行いました。

9月16日(土)

建コン交流会(芋煮会、BBQ)

場 所／スプリングバレー泉高原

参加者 45名

9月20日(水)

技術担当者会議

場 所／パレス宮城野

主 催 支部 技術部会

受講者 66名

9月21日(木)

岩手県との意見交換会

場 所／エスポワールいわて

岩手県 中野県土整備部長 他 4名

協 会 菅原支部長他 17名

議 題／建コンからの提案議題

(1)魅力ある建設コンサルタントにむけた担い
手の育成・確保のための環境整備

(2)技術力重視による選定

(3)品質の確保・向上

(4)その他

9月22日(金)

情報部会

場 所／支部会議室

議 題／(1)各種講習会について
(2)その他

9月22日(金)

山形県県土整備部建設マネジメント研修Ⅱ(応用編)
へ講師派遣

講 師／伊藤 信生(株)庄内測量設計舎)

9月25日(月)

技術部会(構造専門委員会)

場 所／支部会議室

9月27日(水)～28日(木)

福島県土木部職員専門研修「長寿命化修繕計画」

へ講師派遣

講 師／石井 一人(パシフィックC(株))

三浦 俊史(株)近代設計)

櫻井 寿樹(中央C(株))

尾崎 裕司(日本工営(株))

9月28日(木)

総務部会(WG)

場 所／支部会議室

9月28日(木)

ICT普及専門委員会 (ICTセミナー)

場 所／パレス宮城野

主 催 本部 情報部会 ICT 委員会 ICT 普及専門委
員会
東北支部 情報部会

受講者 46名

9月29日(金)

東北地方整備局仙台河川国道事務所

「若手技術職員勉強会」へ講師派遣

講 師／藤田 勝 (株ウスマ地域総研)

9月29日(金)

岩手県土木技術専門研修「土木構造物実習、道路・

河川計画」へ講師派遣

講 師／山田 満秀 (株ダイヤC)

橋尾 宣弘 (株エイト日本技術開発)

[会員の動向]

◆ 新入会員の紹介

- 平成29年4月1日入会 協和設計(株) 仙台事務所
所 長 坪本 正彦
〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-20
TEL 022-722-2235 FAX 022-722-2236
- 平成29年6月1日入会 (株)ケー・シー・エス 東北支社
支社長 室谷 亮
〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-2
TEL 022-224-1591 FAX 022-264-4713
- 平成29年7月1日入会 玉野総合コンサルタント(株) 仙台支店
支店長 尾崎 富男
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-7-20
TEL 022-716-6646 FAX 022-716-6647

◆ 会員の異動（次の方が就任されました）

- 平成29年4月1日 応用地質(株) 東北支社
支社長 原田 益雄
- 平成29年4月1日 (株)建設技術研究所 東北支社
支社長 西村 達也
- 平成29年6月1日 富士コンサルタンツ(株) 仙台支店
支店長 遠藤 繁則

◆ 住所変更

- 平成29年8月1日 (株)片平新日本技研 東北支店
(旧 (株)片平エンジニアリング 東北支店)
(旧 新日本技研(株) 仙台支店)

J C C A
TOHOKU
明日への風、東北から

平成29年度 講演会

「3.11を忘れない」

～東北復興のあゆみ、そしてこれから～

開催日：平成29年11月9日（木）

- 主催：一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 東北支部
 後援：国土交通省東北地方整備局、河北新報社、日刊建設工業新聞社、日刊建設産業新聞社、日刊建設通信新聞社、建設新聞社
 協賛：公益社団法人土木学会東北支部、公益社団法人日本技術士会東北本部
 日時：平成29年11月9日（木） 13:30～17:00
 参加費：無料
 会場：ホテル法華クラブ仙台 1階 ハーモニーホール
 参加対象者：一般者及び企業の皆様、学校関係者（学生を含む）、官公庁の皆様
 建設コンサルタンツ協会会員
 定員：200名（先着順）
 申込方法：裏面の申込書により FAX、またはEメールでお申し込みください。
 申込締切日：平成29年10月31日（火）
 申込問合せ：一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 東北支部（担当；新野、小川）
 TEL022-263-6820 FAX022-222-4574 E-mail：thinfo@th.icca.or.jp

（本講演会は、建設コンサルタンツ協会 CPD プログラムとして認定されています）

プログラム

13:30～13:35	主催者挨拶	一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 東北支部 支部長 菅原 稔郎
13:35～13:40	来賓挨拶	国土交通省東北地方整備局 企画部長 渡邊 泰也 氏
13:40～15:10	講演	演題： 「災害報道はどう変わったか」 ～いのちと暮らしを守るために～ 講師： 入江 さやか氏 NHK 放送文化研究所 上級研究員
15:10～15:25	休憩	
15:25～16:55	講演	演題： 「将来にわたって持続可能性の高い復興とは？」 ～知恵と工夫で東北の未来は明るくなる～ 講師： 角田 陽介 氏 UR 都市機構 特定戦略課長 (元大船渡市副市長)
16:55～17:00	閉会	一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 東北支部 広報委員長 松川 秀敏
17:20～18:50	意見 交換会	ホテル法華クラブ仙台 2階 ピア（希望者・先着50名：会費制）

一般社団法人 建設コンサルタント協会 東北支部 会員名簿

会員 10月1日現在 103社

会社名	事業所名	郵便番号・住所	電話番号
(株)アサノ大成基礎エンジニアリング	東北支社	〒984-0051 仙台市若林区新寺3-13-10	022-295-5768
朝日航洋(株)	東北空情支社	〒981-3131 仙台市泉区七北田字古内1-1	022-771-2382
アジア航測(株)	仙台支店	〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-4-28	022-216-3553
(株)アスコ大東	東北支店	〒980-6010 仙台市青葉区中央4-6-1	022-724-7530
(株)東コンサルタント	本社	〒970-8026 福島県いわき市平字正内町101	0246-23-8424
(株)アーバン設計	本社	〒963-0201 福島県郡山市大槻町字御前東46-26	024-961-7500
いであ(株)	東北支店	〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-1-11	022-263-6744
(株)ウエスコ	東北支店	〒981-3107 仙台市泉区本田町13-31	022-776-3151
(株)ウヌマ地域総研	本社	〒010-0965 秋田県秋田市八橋新川向13-19	018-863-5809
エイト技術(株)	本社	〒031-0072 青森県八戸市城下2-9-10	0178-47-2121
(株)エイト日本技術開発	東北支社	〒984-0074 仙台市若林区東七番丁161	022-712-3555
応用地質(株)	東北支社	〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町3-21-2	022-237-0471
(株)オオバ	東北支店	〒980-0802 仙台市青葉区二日町14-4	022-261-8861
(株)オリエンタルコンサルタツ	東北支店	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1	022-215-5522
開発虎ノ門コンサルタント(株)	東北支店	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-5-24	022-292-5220
(株)片平新日本技研	東北支店	〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-10-17	022-722-3130
川崎地質(株)	北日本支社	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-4-16	022-792-6330
(株)菊池技研コンサルタント	本社	〒022-0007 岩手県大船渡市赤崎町字石橋前6-8	0192-27-0835
基礎地盤コンサルタツ(株)	東北支社	〒983-0842 仙台市宮城野区五輪2-9-23	022-291-4191
キタイ設計(株)	東北支社	〒980-0801 仙台市青葉区木町通2-6-53	022-343-5416
(株)キタコン	本社	〒036-8051 青森県弘前市大字宮川1-1-1	0172-34-1758
(株)キタツク	仙台事務所	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-1-37	022-265-1051
(株)橋梁コンサルタント	東北事務所	〒960-8043 福島県福島市中町4-20	024-524-2381
(株)協和コンサルタツ	東北支社	〒980-0013 仙台市青葉区花京院2-1-14	022-266-6073
協和設計(株)	仙台事務所	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-20	022-722-2235
(株)近代設計	東北支社	〒984-0074 仙台市若林区東七番丁161	022-217-6750
(株)ケー・シー・エス	東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-2	022-224-1591
(株)建設環境研究所	東北支社	〒980-0021 仙台市青葉区中央4-10-3	022-265-0666
(株)建設技術研究所	東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-15-1	022-261-6861
(株)建設技術センター	仙台営業所	〒982-0262 仙台市青葉区西花苑2-15-23	022-302-1195
(株)コウキコンサルタント	本社	〒996-0902 福島県喜多方市松山町村松字小荒井道西405-10	0241-24-2701
(株)構研エンジニアリング	東北営業所	〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-1-53-203	022-344-6231
(株)郡山測量設計社	本社	〒963-8041 福島県郡山市富田町字十文字54-3	024-952-5200
(株)国際開発コンサルタツ	仙台支店	〒980-0011 仙台市青葉区一番町1-5-25	022-225-6201
国際航業(株)	東北支社	〒984-0051 仙台市若林区新寺1-3-45	022-299-2801
(株)コサカ技研	本社	〒039-1103 青森県八戸市大字長苗代字上碓田56-2	0178-27-3444
(株)コンテック東日本	本社	〒030-0122 青森県青森市大字野尻今田91-3	017-738-9346
(株)寒河江測量設計事務所	本社	〒991-0003 山形県寒河江市大字西根字長面153-1	0237-86-5520
(株)サトー技建	本社	〒984-0816 仙台市若林区河原町1-6-1	022-262-3535
(株)三協技術	本社	〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-8-14	022-224-5503
三協コンサルタント(株)	本社	〒994-0062 山形県天童市長岡北1-2-1	023-655-5000
サンコーコンサルタント(株)	東北支店	〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-38	022-273-4448
(株)三和技術コンサルタント	本社	〒995-0015 山形県村山市楯岡二日町7-21	0237-55-3535
柴田工事調査(株)	本社	〒012-0801 秋田県湯沢市岩崎字南五条61-1	0183-73-7171
(株)庄内測量設計舎	本社	〒999-7781 山形県東田川郡庄内町余目字三人谷地69-9	0234-43-2459
昭和(株)	東北支社	〒980-0022 仙台市青葉区本町2-1-1	022-261-9052
(株)昭和土木設計	本社	〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南4-1-23	019-638-6834
新和設計(株)	本社	〒992-0021 山形県米沢市大字花沢880	0238-22-1170
(株)新和調査設計	本社	〒963-8016 福島県郡山市豊田町4-12	024-934-5311
ジェイアール東日本コンサルタツ(株)	東北支店	〒983-0853 仙台市宮城野区東六番丁31-2	022-211-0872
セントラルコンサルタント(株)	東北支社	〒980-0822 仙台市青葉区立町27-21	022-264-1923
(株)創研コンサルタント	本社	〒010-0951 秋田県秋田市山王1-9-22	018-863-7121

会社名	事業所名	郵便番号・住所	電話番号
(株)総合技術コンサルタント	東北支店	〒980-0804 仙台市青葉区大町1-3-2	022-268-4191
創和技術(株)	本社	〒010-0951 秋田県秋田市山王6-20-7	018-863-4545
(株)高島テクノロジーセンター	東北支店	〒980-6117 仙台市青葉区中央1-3-1	022-721-5401
玉野総合コンサルタント(株)	仙台支店	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-7-20	022-716-6646
(株)田村測量設計事務所	本社	〒990-0023 山形県山形市松波4-12-3	023-642-6644
第一復建(株)	仙台事務所	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-20	022-722-3701
(株)ダイエツ	本社	〒965-0831 福島県会津若松市表町2-53	0242-26-1253
大日コンサルタント(株)	仙台事務所	〒980-0021 仙台市青葉区中央2-7-30	022-225-5626
大日本コンサルタント(株)	東北支社	〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-35	022-261-0404
(株)ダイヤコンサルタント	東北支社	〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-4-1	022-263-5121
大和工営(株)	本社	〒996-0053 山形県新庄市大字福田字福田山711-43	0233-22-2422
(株)地圏総合コンサルタント	仙台支店	〒980-0803 仙台市青葉区国分町1-2-1	022-261-6466
中央開発(株)	東北支店	〒984-0037 仙台市若林区蒲町字東50-2	022-766-9121
(株)中央技術コンサルタント	東北支店	〒981-3131 仙台市泉区中央2-16-12	022-375-6787
中央コンサルタント(株)	仙台支店	〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-27	022-722-2541
中央復建コンサルタント(株)	東北支社	〒980-0011 仙台市青葉区上杉2-3-7	022-267-1459
中電技術コンサルタント(株)	東北営業所	〒981-0014 仙台市青葉区本町1-13-22	022-397-8173
中部復建(株)	東北支社	〒980-0801 仙台市青葉区木町通2-5-18	022-274-8190
(株)長大	仙台支社	〒984-0051 仙台市若林区新寺1-2-26	022-781-8628
(株)千代田コンサルタント	仙台支店	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-3-8	022-214-6261
(株)テクノ長谷	本社	〒980-0824 仙台市青葉区支倉2-10	022-222-6457
(株)東京建設コンサルタント	東北支社	〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-10-17	022-222-8887
東京コンサルタント(株)	東北支店	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-17-20	022-265-3891
(株)東建工営	本社	〒981-1227 名取市社せきのした1-2-7	022-383-9811
(株)トーチコンサルタント	東北事務所	〒980-0021 仙台市青葉区中央2-7-30	022-262-0243
(株)ドコン	東北支店	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-25	022-225-2860
東邦技術(株)	本社	〒014-0041 秋田県大仙市大曲丸子町2-13	0187-62-3511
(株)東北開発コンサルタント	本社	〒980-0804 仙台市青葉区大町2-15-33	022-225-5661
(株)東北構造社	本社	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-2-3	022-227-1877
日栄地質測量設計(株)	本社	〒970-8026 福島県いわき市平字作町1-3-2	0246-21-3111
(株)日水コン	東北支所	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-7-17	022-222-1101
日本工営(株)	仙台支店	〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-1-11	022-227-3525
(株)日本構造橋梁研究所	東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-1-7	022-713-6657
(株)日本港湾コンサルタント	東北支社	〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-5	022-215-9051
日本振興(株)	東北支店	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-3-10	022-291-3810
(株)ニュージェック	東北支店	〒981-0912 仙台市青葉区堤町1-1-2	022-301-7611
パシフィックコンサルタント(株)	東北支社	〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-9-1	022-302-3940
(株)パスコ	東北事業部	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡2-2-11	022-299-9511
(株)東日本建設コンサルタント	本社	〒974-8261 福島県いわき市植田町林内26-5	0246-63-6063
(株)福田水文センター	東北営業所	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-6-10	022-224-1417
(株)福山コンサルタント	東北支社	〒980-0802 仙台市青葉区二日町13-17	022-262-0118
富士コンサルタント(株)	仙台支店	〒982-0013 仙台市太白区太子堂10-20	022-395-6216
(株)ふたば	本社	〒963-0115 福島県郡山市南2丁目76	024-954-3832
(株)双葉建設コンサルタント	本社	〒996-0002 山形県新庄市金沢字谷地田1399番11	0233-22-0891
(株)復建エンジニアリング	東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-3-10	022-267-2765
(株)復建技術コンサルタント	本社	〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-7-25	022-262-1234
復建調査設計(株)	東北支店	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-20	022-723-5830
三井共同建設コンサルタント(株)	東北支社	〒980-0021 仙台市青葉区中央4-10-3	022-225-0489
陸奥テックコンサルタント(株)	本社	〒963-8011 福島県郡山市若葉町17-18	024-922-2229
八千代エンジニアリング(株)	東北支店	〒980-0802 仙台市青葉区二日町1-23	022-261-8344
(株)横浜コンサルティングセンター	仙台支店	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-17-18	022-262-1493

編集後記

私事ですが、東北に赴任してから1年たち、東北地方の素晴らしさを日々実感しております。酒も食べ物も美味しく、自然豊かで四季の移り変わりを目と肌で実感できます。特にこれからの季節、山々を彩る紅葉は心に安らぎを与えてくれます。

本誌が皆様の手が届くころは忘れていらっしゃる方が多いかもしれませんが、今年の夏は長雨に参りました。仙台では36日連続で降雨を観測したとのことで農作物に影響が出ないか心配です。

また、昨年の台風10号に続き、秋田地方を襲った集中豪雨による甚大な被害もありました。

被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

建設コンサルタンツ協会としては、被害にあった皆様に1日も早く安心いただけるよう、会員各社迅速な対応をさせていただきました、1日も早い復興をご祈念申し上げます。

さて、今年も建設コンサルタンツ協会主催の講演会を下記のとおり「3.11を忘れない」というテーマで入江さやか氏・角田陽介氏を講師にお招きし開催します。(詳細は39ページを御覧下さい)

多くの皆様にご来場いただけますことを期待し、編集後記とさせていただきます。

平成29年度講演会

「3.11を忘れない」～東北復興のあゆみ、そしてこれから

開催日：平成29年11月9日(木)

開催場所：ホテル法華クラブ仙台 1階 ハーモニーホール

講師：入江さやか氏(NHK放送文化研究所 上級研究員)

角田陽介氏(UR都市機構 特定戦略課長 元大船渡市副市長)

(平成29年9月 武田浩幸 記)

JCCA TOHOKU Vol.56

発行 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会東北支部
〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-6-11
アーク仙台ビル
TEL 022-263-6820

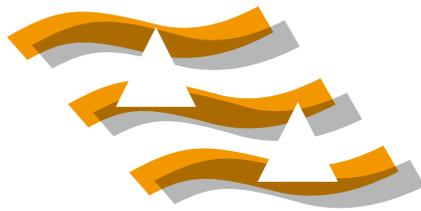
編集 広報委員長 松川 秀敏
副委員長 菊池 透 副委員長 佐藤 敏倫
広報委員 大友 正樹 広報委員 佐藤 雅樹
〃 大場 秀行 〃 遠藤 徹也
〃 高橋 伸彰 〃 高橋 力
〃 樋口 章大 〃 庄司 敏彦
〃 海藤 剛 〃 武田 浩幸
〃 横川 勝美

事務局 新野 俊晴・小川 みゆき

印刷 ハリウ コミュニケーションズ株式会社

〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12

TEL 022-288-5011



.....明日への風、東北から.....

ロゴのデザインについて

三本の流れは、東北から発進する新しい風と〔文化〕を象徴したものであり、その中の白い三角は東北独自の〔風土〕と〔歴史〕をイメージしたものである。